

はままつ みっかび とよはし
浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）
第2回 計画段階評価

国土交通省 中部地方整備局

令和2年6月24日

目 次

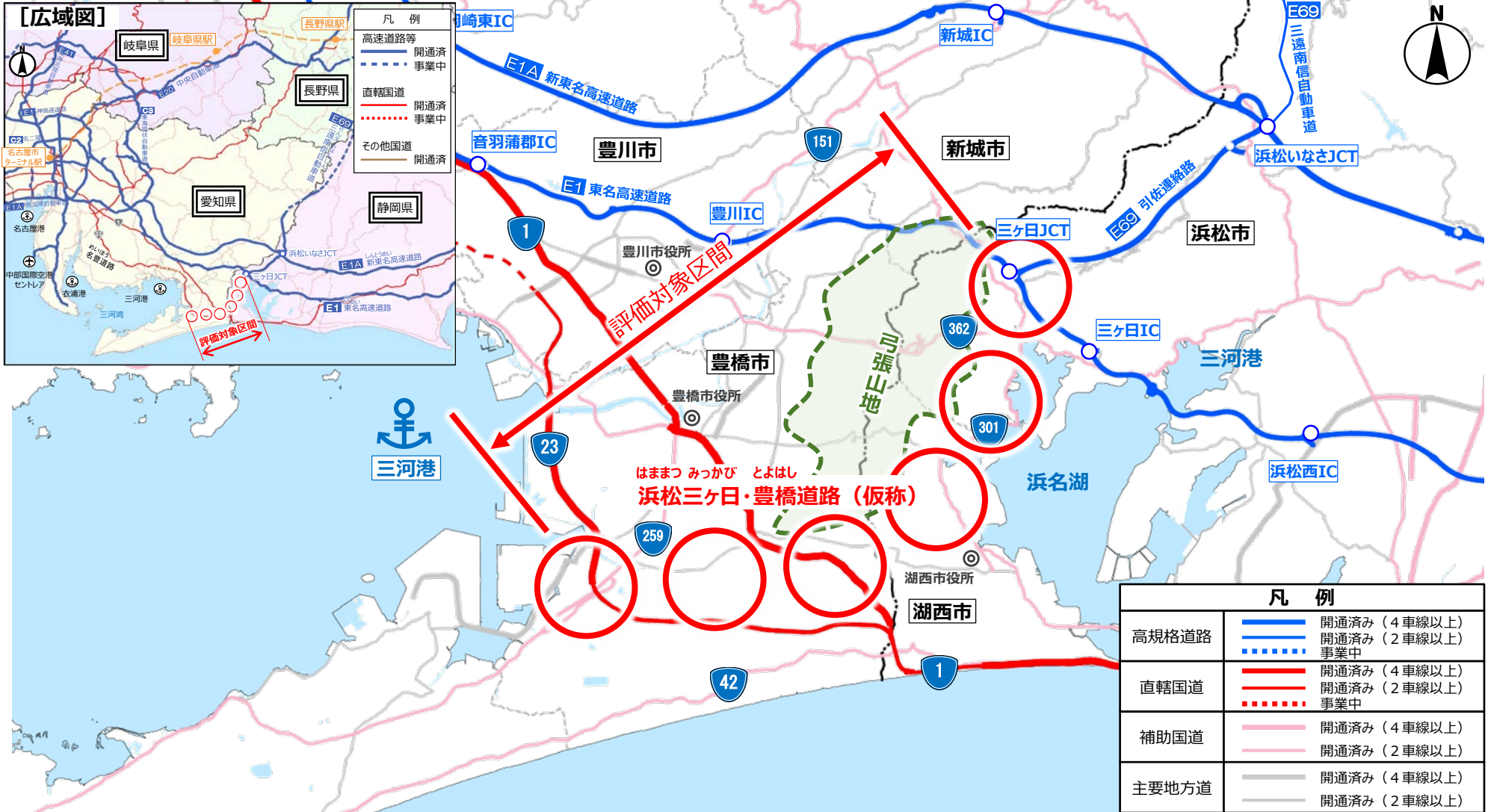
1. 検討の流れ	2
2. 第1回意見聴取の結果	9
3. 対応方針の検討	21
4. 第2回意見聴取の方法	29

1. 検討の流れ

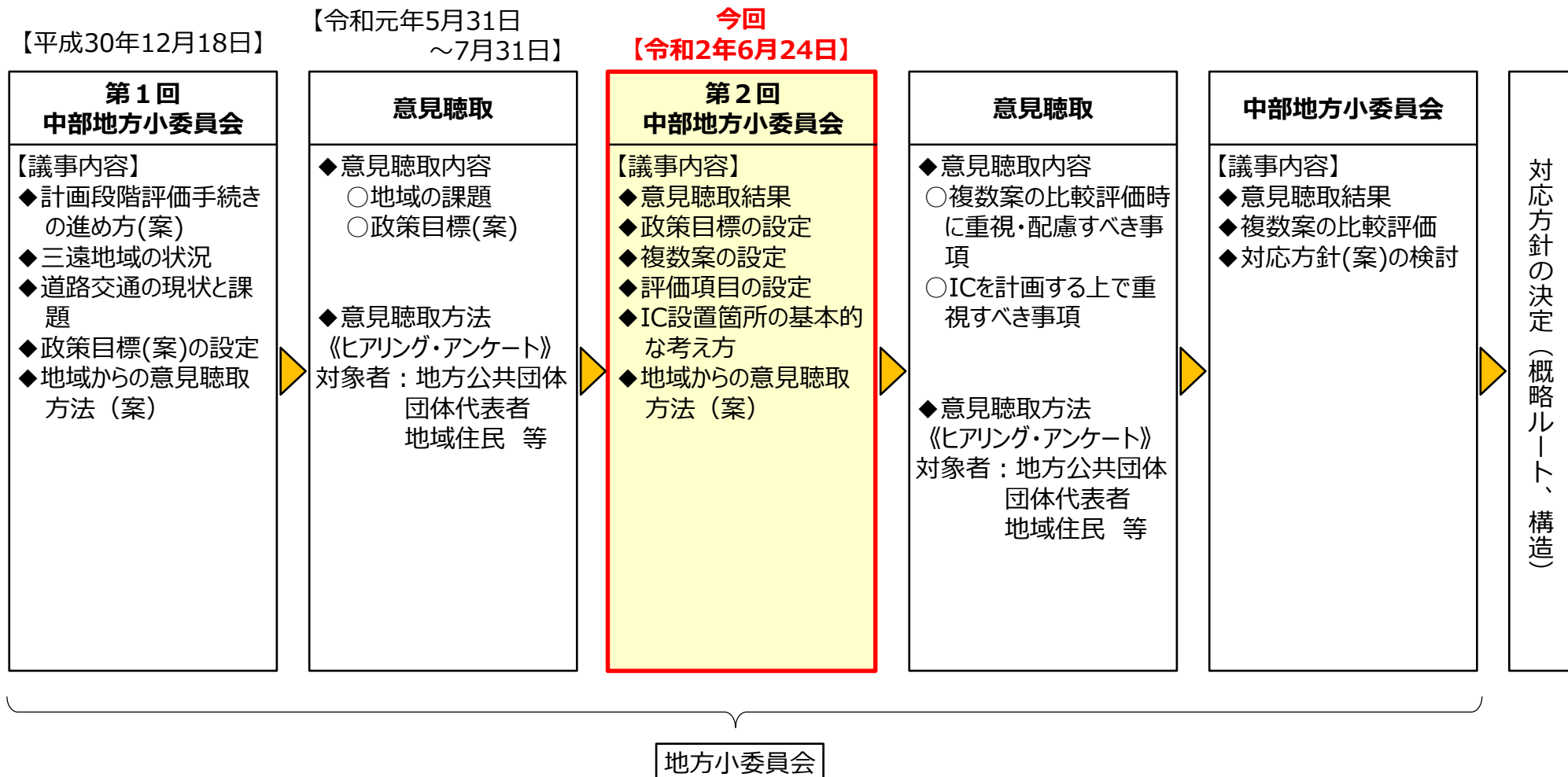
1. 検討の流れ 1-1)計画段階評価区間

■ 評価対象区間は、東名三ヶ日JCTと三河港を結び、弓張山地の東側を経過地とする区間

○ 評価対象区間周辺

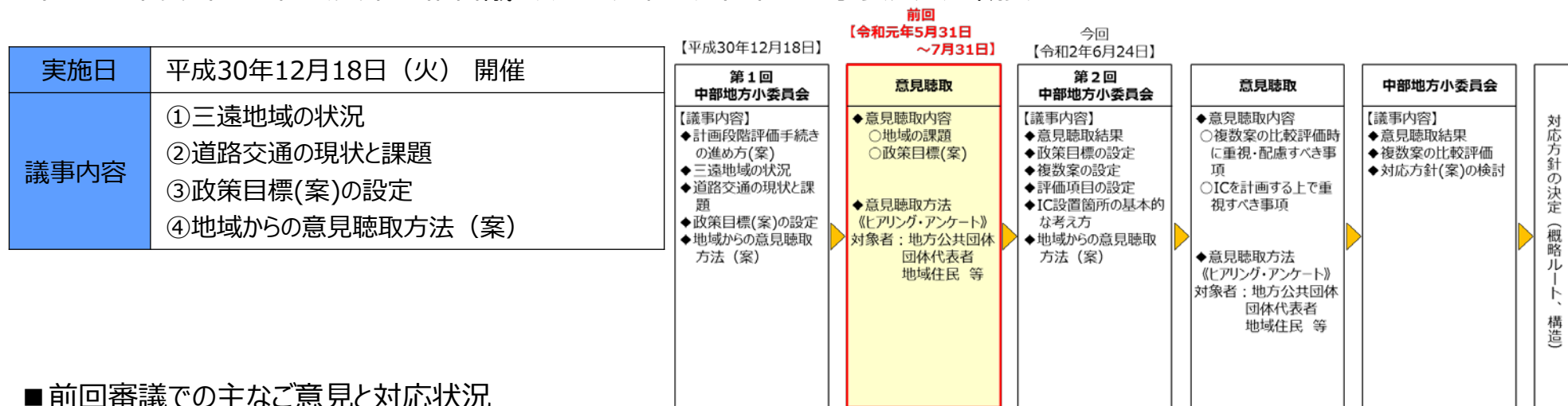


1. 検討の流れ 1-2)計画段階評価手続きの進め方



1. 検討の流れ 1-3) 前回審議内容①

■ 平成30年度 第1回社会資本整備審議会 道路分科会 中部地方小委員会の概要



■ 前回審議での主なご意見と対応状況

指摘事項	対応状況	該当箇所
・どのくらいの整備効果が出るのかが分かりにくい。災害や物流などは感覚的に理解できるが、観光の面で60分以上かかっている箇所がどのくらい減るのかなど、効果を分かりやすくする。	・想定される整備効果を追加し、アンケートを実施	P 6
・交流が成り立つような類似施設等、観光上のマーケティングの観点を踏まえて、アンケートに例示することで地元の方にも効果が伝わるのではないか。	・各地域の代表的な観光施設間の所要時間を例示したアンケートとした ・また、観光協会等へのヒアリングにより具体的な意見を集約	P 6
・どの程度の時間短縮によって、どのくらいの起爆剤になるのか等、求められるサービス水準を把握したうえで、サービス水準を担保する構造・規格を検討するべきではないか。	・各種団体等へのヒアリングにおいて具体的な整備効果や期待等を例示しつつ、関係機関の具体的なニーズを把握	-
・広域的な利用者を対象にした意見聴取方法についても検討すべきではないか。	・WEBアンケートの実施、道の駅、SA・PAにて設置アンケート実施、インタビュー調査の実施	P 7
・アンケートの設問（問2）について、課題の項目の説明が複雑で回答しづらいのではないか。	・アンケート票の設問を修正	P 8

1. 検討の流れ 1-4) 前回審議内容②

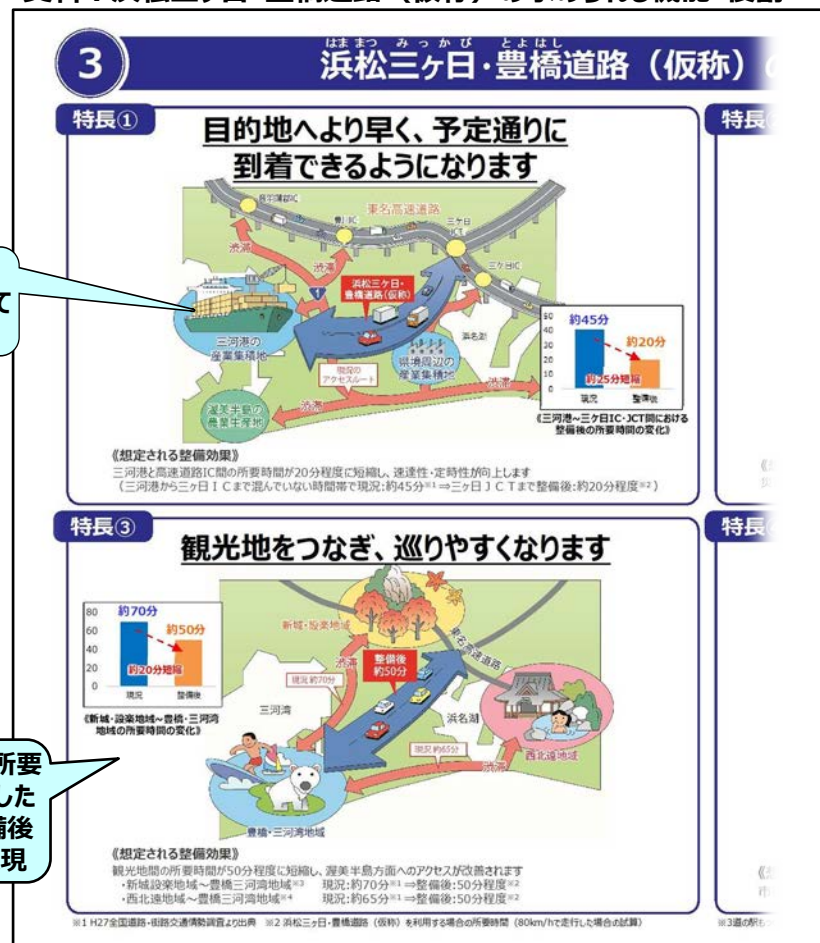
- 地域の課題に加え、浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）に求められる役割・機能、想定される整備効果について示した資料を追加しアンケートを実施。
- また、各地域の代表的な観光施設間の所要時間を示すことでアンケート対象者が効果をイメージしやすく工夫した。

■ イラスト・グラフ等を活用した回答者に分かりやすい資料の作成

資料：新たな道路を計画している地域の課題



資料：浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の求められる機能・役割



課題や機能をイラストを活用して表現

観光地間の所要時間を比較したグラフで整備後の効果を表現

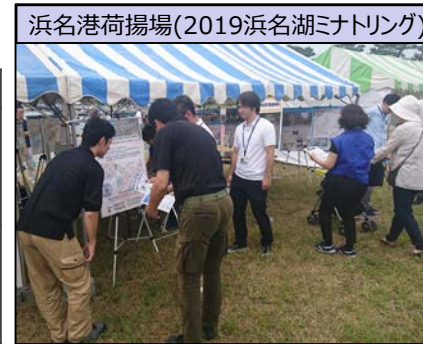
1. 検討の流れ 1-5) 前回審議内容③

- 国・自治体のホームページ等のWEBや、計画路線周辺の道の駅、東名、新東名のSA/PA、観光施設等の訪問者にアンケート調査を実施し、広域道路利用者の意見を聴取した。

■ 意見聴取別手法・調査方法

〔意見聴取の際の工夫〕

分類	工夫
沿線周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の課題や機能を説明する資料を封入し、地域の課題等を踏まえて回答頂いた ・郵送配布で、回答用ハガキを2通封入し、年代や性別の偏りを抑制
広域	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB登録モニターアンケートでは、当該地域を知らない方の回答を防ぐため、当該地域を一度でも訪問した事のある方のみ回答して頂いた ・道の駅インタビューで、「これからの行き先」を聞き、浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）を関連する移動の方のみ回答頂いた



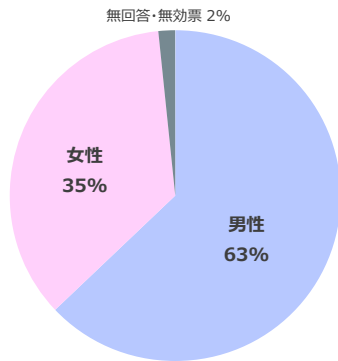
インタビュー形式の意見聴取の様子



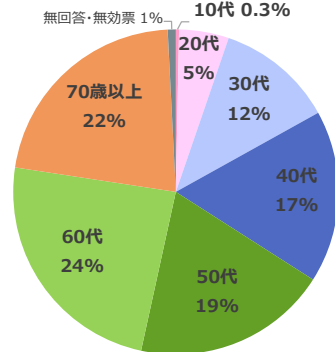
留め置き設置状況

〔工夫を行った成果〕

■ 回答者の性別



■ 回答者の年齢



回答者の年齢や男女比から見て、幅広い層から意見聴取することができる

■ 周辺地域ならびに広域的な道路利用者の声の反映

調査媒体	手法	分類	対象		調査方法	回収状況	
			沿線	周辺広域		回収数	回収率
アンケート（紙面）	郵送配布	計画路線の沿線住民	◎	-	・概ねのルート帯が通過する地域（豊橋市・湖西市・浜松市北区の一部）に全戸配布（計 約61,630世帯）	15,597	25%
		計画路線の周辺住民	-	◎	・沿線地域に隣接する自治体より無作為抽出（計 約41,090世帯）	11,629	28%
アンケート（WEB）	留め置き	自治体	○	◎	・周辺地域の道の駅（8箇所）利用者 ・東名・新東名のSA/PA（4箇所） ・国HPへのWEBアンケートページの設置 ・WEBモニター調査 ・渥美半島の宿泊施設	303	-
		SA/PA	○	◎			
		道の駅 渥美半島方面の宿泊施設等	○	◎			
インタビュー	ホームページのバナー	国 自治体	○	◎	計画路線周辺地域を利用する一般住民を対象にホームページにWEBアンケートのバナー及び、リンクを設置	3,942	-
	登録モニターにWEB配信	登録モニター	-	◎	計画路線周辺を訪れたことがある、中部圏に住む登録モニターを対象にWEBアンケートを依頼		
インタビュー	道の駅	道の駅	-	◎	・周辺地域の道の駅（8箇所）利用者	877	-
	オープンハウス	観光地	○	◎	・浜名湖ミナトリング（イベント） ・のんほいパーク来訪者	325	-

沿線住民以外の声を幅広く聴取することができる（沿線：15,597票/周辺・広域：17,076票）

1. 検討の流れ 1-6) 前回審議内容④

■ アンケート調査票の設問で、説明が複雑だった文章を回答しやすい簡潔な表現に修正するとともに、自由回答には記載例を表示。

《アンケート調査票の説明文の変更：問2.道路に関する課題》

〔変更前：前回地方小委員会提示(案)〕

● 指摘事項

当初の設問では、①、③、④、⑤、⑦について類似した表現が多く、政策目標（案）で挙げた、確認したい課題項目との関係性が不明確であった。

- ① 観光地や地域間が離れており、地域間を早くスムーズにつなぐ道路がなく、移動がにくい
- ② 最寄りの高速ICまで遠い
- ③ 渋滞等により最寄りの高速道路ICまでの到着時間がよめない
- ④ 道路幅が狭い箇所が多く、走りにくい
- ⑤ 市街地での渋滞によりスムーズの走行ができない
- ⑥ 自身や津波により道路が通れなくなる恐れがある
- ⑦ 大型車が多いため走りにくく、危険を感じることもある

〔変更後：第1回意見聴取〕

政策目標（案）で設定した課題と、回答者が感じる課題の妥当性を確認する上で、類似した設問を集約して簡素な表現に変更し、回答しやすい文章に変更。

※課題に対する詳細な意見や、他に課題と感じている事項については、自由回答欄で回答

- ① 最寄りの高速道路ICまで遠い
- ② 渋滞等により高速道路ICまでの到着時間がよめない
- ③ 地震や津波により道路が通れなくなる恐れがある
- ④ 観光地や地域間をスムーズにつなぐ道路がなく、移動がにくい
- ⑤ 市街地を通過する大型車が多く、危険を感じることもある

第1回地方小委員会で設定した政策目標（案）

- 速達性、定時性の向上による物流支援
- 災害時の信頼性向上による円滑な救援活動及び支援物資輸送
- 広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進
- 生活交通の安全な走行環境

2. 第1回意見聴取の結果

2. 第1回意見聴取の結果 2-1) 意見聴取の概要

- 意見聴取期間は、令和元年5月31日～令和元年7月31日。
- 沿線地域及び周辺地域の住民、地方公共団体、各種団体、道路利用者を対象にアンケート・ヒアリングを実施。

■ 意見聴取（1回目）の概要

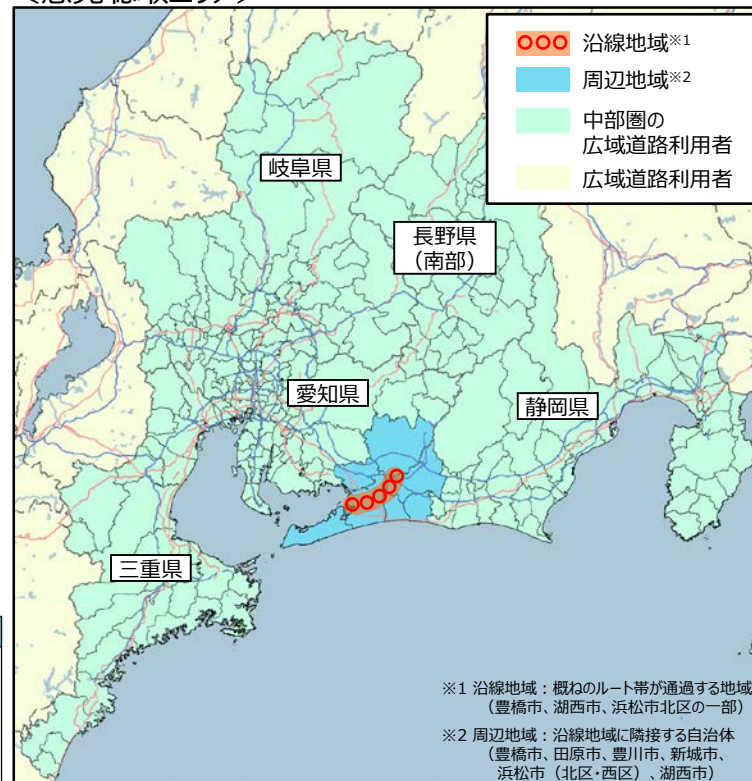
1) 一般道路利用者

分類	手法	対象	配布数	回収数	回収率
沿線住民	郵送配布 (全戸配布)	・概ねのルート帯が通過する地域 (豊橋市・湖西市・浜松市北区の一部)	61,630	15,597	25%
周辺住民	郵送配布 (無作為抽出)	・沿線地域に隣接する自治体	41,090	11,629	28%
小計			102,720	27,226	-
道路利用者	留め置き	・周辺地域の道の駅、SA/PA、渥美半島の宿泊施設利用者 <道の駅> 8箇所 <東名・新東名のSA/PA> 4箇所 <渥美半島の宿泊施設> 4箇所	-	303	-
	ホームページの バナー	・周辺地域を利用する一般住民 <バナー・リンクの設置団体> 浜松河川国道事務所、名四国道事務所 周辺地域の6市（豊橋市、田原市、豊川市、新城市、浜松市、湖西市）	-	3,942	-
	WEBアンケート (登録モニター)	・計画路線周辺を訪れたことがある、中部圏に住む登録モニター	-	-	-
	インタビュー	・周辺地域の道の駅（8箇所）利用者	-	877	-
	オープンハウス	・観光地に訪れた観光客 <観光施設> 浜名湖ミナトリング（イベント） のんほいパーク来訪者	-	325	-
小計			-	5,447	-
合計			102,720	32,673	-

2) 事業者（地方公共団体・各種団体）

調査媒体	手法	対象	配布数	回収数	回収率
アンケート (紙面)	郵送配布	・ヒアリング後、各種団体所属企業・会員 <配布対象> 商工会議所会員企業 三河港振興会 会員企業及び会員企業が利用している物流業者 観光協会会員、温泉旅館組合会員 トラック協会会員、バス協会会員、タクシー協会会員 教育委員会（沿線・周辺自治体）	1,510	482	32%
ヒアリング	ヒアリング	・地方公共団体及び関係機関・団体 <地方公共団体> 愛知県、静岡県 沿線地域及び周辺地域の6市 (豊橋市、田原市、豊川市、新城市、浜松市、湖西市) 物流面で結びつきの強い地域（豊田市） <各種団体> 教育委員会、消防署、警察署、医療機関、商工会議所、 三河港振興会、観光協会、トラック協会、バス協会、タクシー協会、 温泉旅館組合、農業協同組合、道の駅 商工会議所会員企業 教育委員会（沿線・周辺自治） 中部圏の全国旅行業協会、日本旅行業協会	-	-	-

〔意見聴取エリア〕



- ・周知方法：記者発表、ポスター掲示、周辺地域の自治体による広報誌及び、回覧、国、県、沿線・周辺地域地方公共団体HPへのバナー及び、リンク貼り付け（浜松河川国道事務所、名四国道事務所、周辺地域※2の自治体）
- ・配布方法：①住民アンケートについて、沿線地域※1は全戸配布、周辺地域※2は無作為抽出で配布
※地域在住の方に幅広く意見を聴取る目的で1世帯つき、2枚回答標を同封。
②上記以外は、市・区役所や道の駅、SA/PAへのアンケート用紙設置
- ・回収方法：①郵便ポスト、QRコードによるスマートフォン等からの回答（WEB）
②市・区役所や道の駅、SA/PAに投函ボックスを設置
- ・期 間：約2ヶ月（5月31日～7月31日）

2. 第1回意見聴取の結果 2-2) 回答者属性①

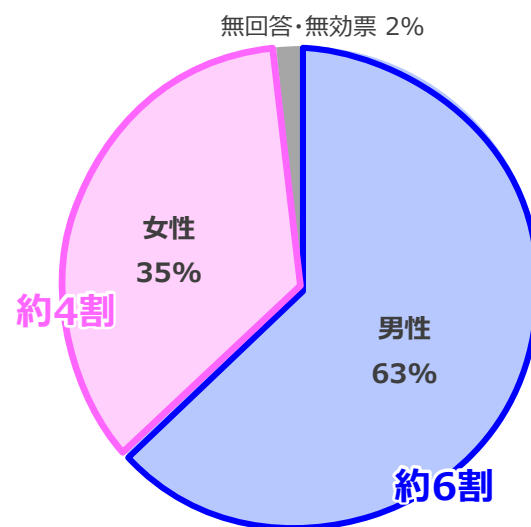
- 住民27,226人、道路利用者5,447人、事業者（団体・企業）482団体・社から意見聴取を実施。
- アンケート回答者の約6割が男性、約4割が女性。年齢はどの年代からも回答があった。

■ アンケート回収状況

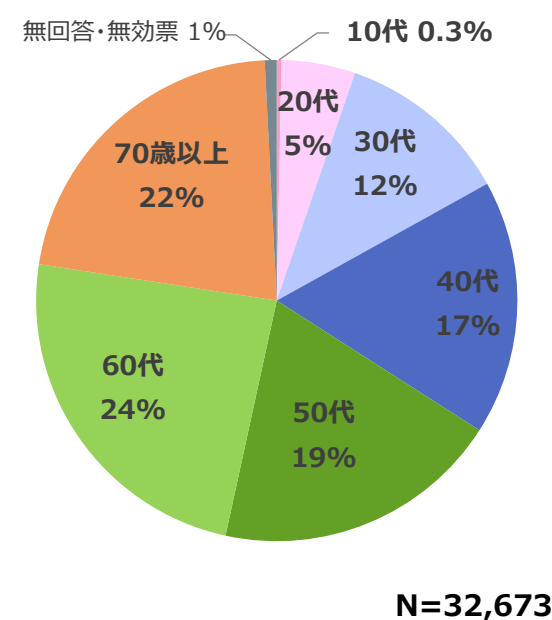
分類			回収数（件）
一般道路利用者（合計）	地域住民（計）	沿線住民	15,597
		周辺住民	11,629
			27,226
	道路利用者		5,447
			32,673
事業者			482

■ 一般道路利用者の属性

■ 性別



■ 年齢

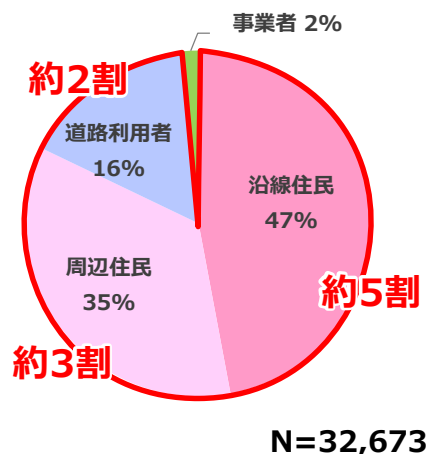


2. 第1回意見聴取の結果 2-2) 回答者属性②

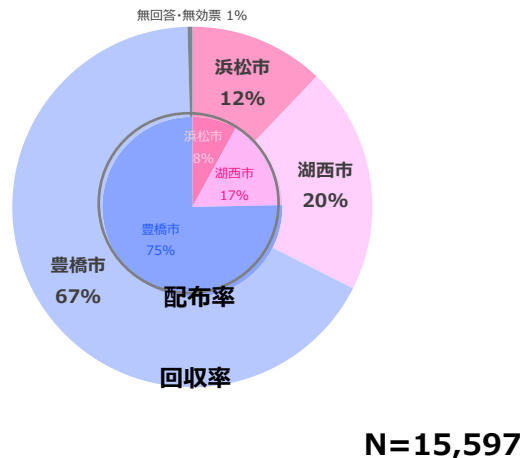
- アンケート回答者の地域特性としては、沿線住民が約5割、周辺住民が約3割、道路利用者で約2割であった。
- アンケートについては周辺及び、広域的な利用者の意見も多く得られる結果となった。

■ 一般道路利用者の居住地別回収状況

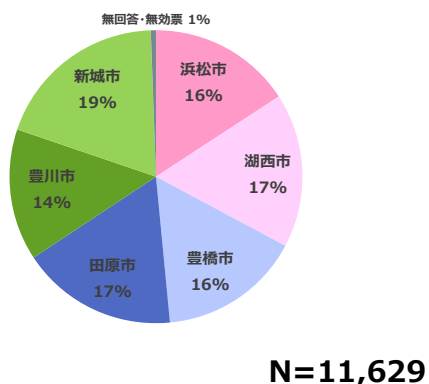
■ 道路利用者分類



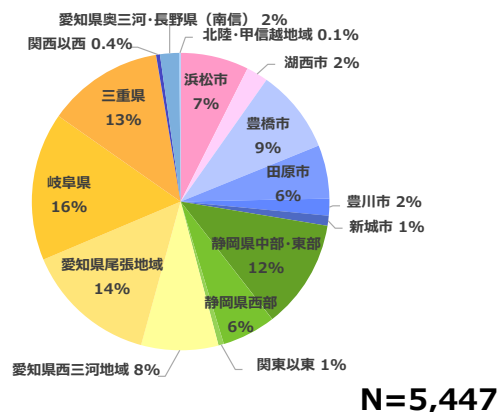
■ 沿線住民



■ 周辺住民

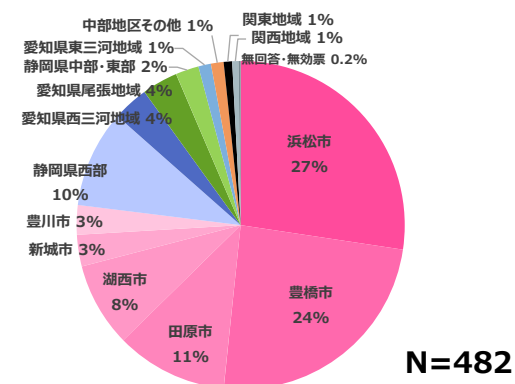


■ 道路利用者



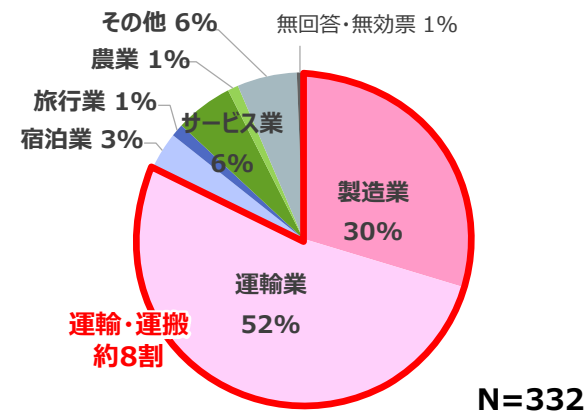
■ 事業者

■ 所在地別回収状況



■ 業種

※自動車の利用があり、浜松三ヶ日・豊橋道路 (仮称) 周辺の道路利用がある事業者のみ回答

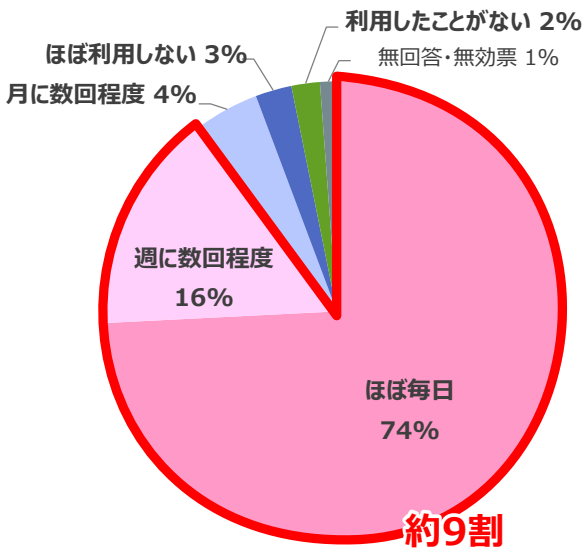


2. 第1回意見聴取の結果 2-3) 回答者の計画路線周辺道路の利用形態①

①一般道路利用者の自動車の利用頻度と計画路線周辺道路利用状況

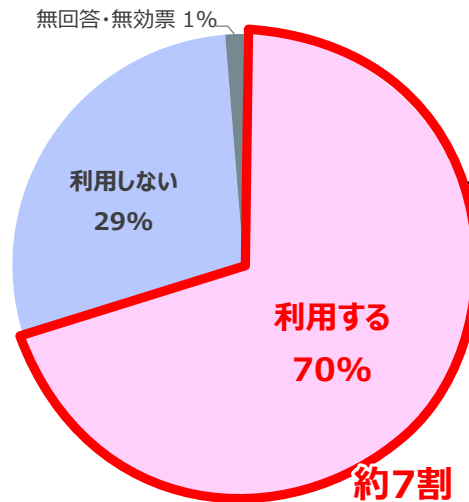
- 自動車の利用頻度は、ほぼ毎日・週に数回利用と回答した方が約9割で、計画路線周辺道路の利用者は約7割。
- 計画路線周辺道路利用者の道路利用目的は、「観光・レジャー」で利用する方が約5割となっている。
- 計画路線周辺道路利用者の目的地は、周辺地域を目的地にする方が8割となっている。

■ 自動車の利用頻度



N=32,673

■ 計画路線周辺道路の利用状況

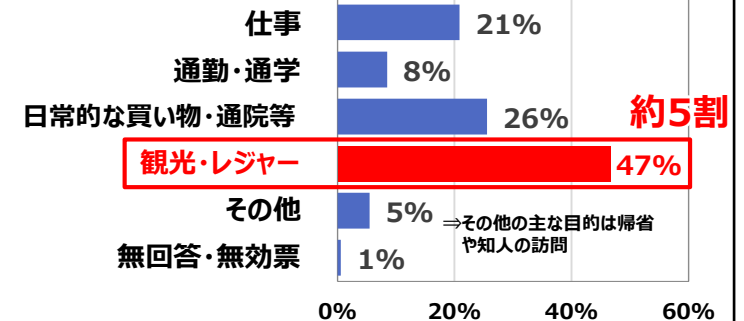


N=32,020

※前の問【自動車の利用頻度】で「利用したことが無い」「無回答・無効票」の回答者はこの問いには回答しない

■ 計画路線周辺道路の利用目的と目的地

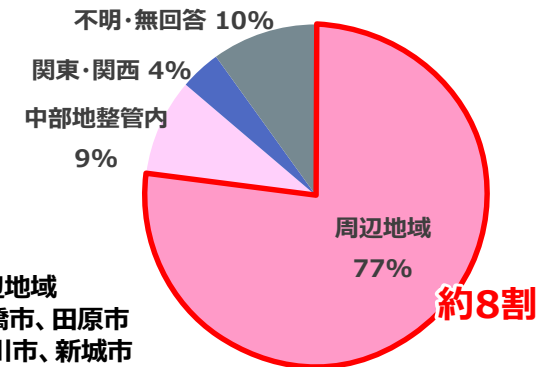
■ 利用目的



※単一回答にてアンケートは実施。複数回答が多かった為、複数回答として集計

N=22,528

■ 目的地



※周辺地域
・豊橋市、田原市
豊川市、新城市
浜松市、湖西市

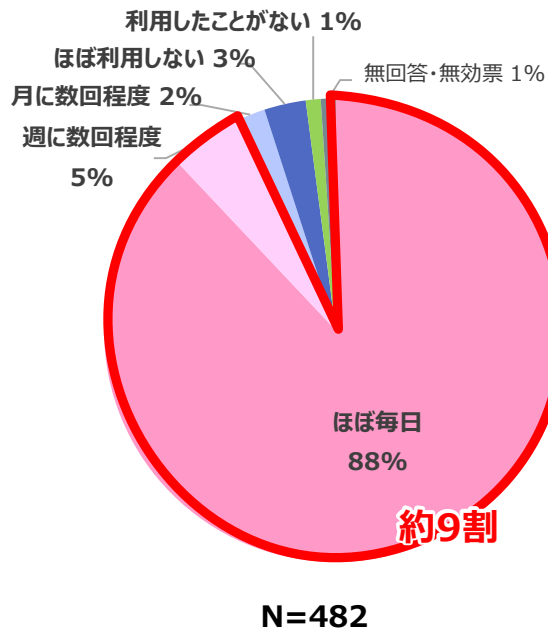
N=22,528

2. 第1回意見聴取の結果 2-3) 回答者の計画路線周辺道路の利用形態②

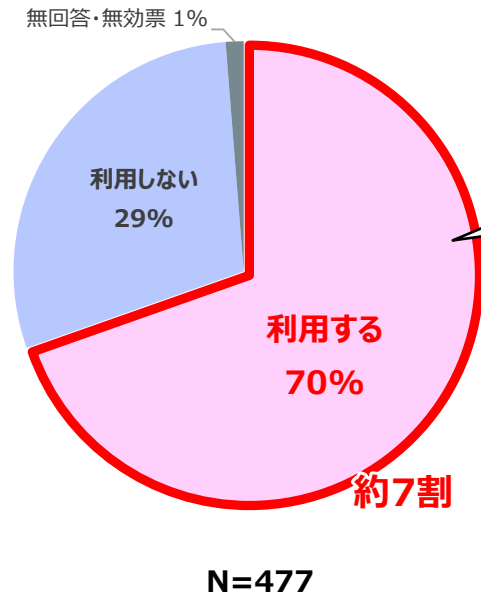
②事業者の自動車の利用頻度と計画路線周辺道路利用状況

- 自動車の利用頻度は、ほぼ毎日・週に数回利用と回答した方が約9割で、計画路線周辺道路の利用者は約7割。
- 計画路線周辺道路を利用する事業者の業種は、「運輸・運搬」で約7割となっている。
- 計画路線周辺道路を利用する事業者の目的地は、「周辺地域内の発着」が約8割、「周辺地域⇔周辺地域外の発着」が約5割。この内、「周辺地域⇔周辺地域外の発着」の行き先は、「東に向かう事業者」が約5割となっている。

■ 自動車の利用頻度

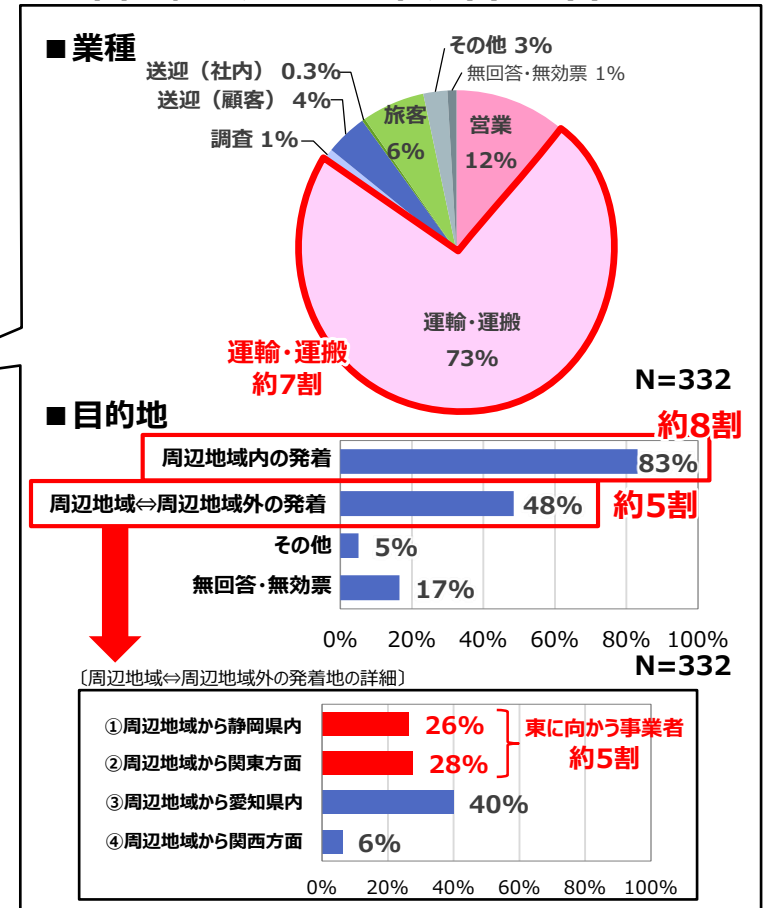


■ 計画路線周辺道路の利用状況



※前の問【自動車の利用頻度】で「利用したことが無い」「無回答・無効票」の回答者はこの問いには回答しない

■ 計画路線周辺道路の利用目的と目的地

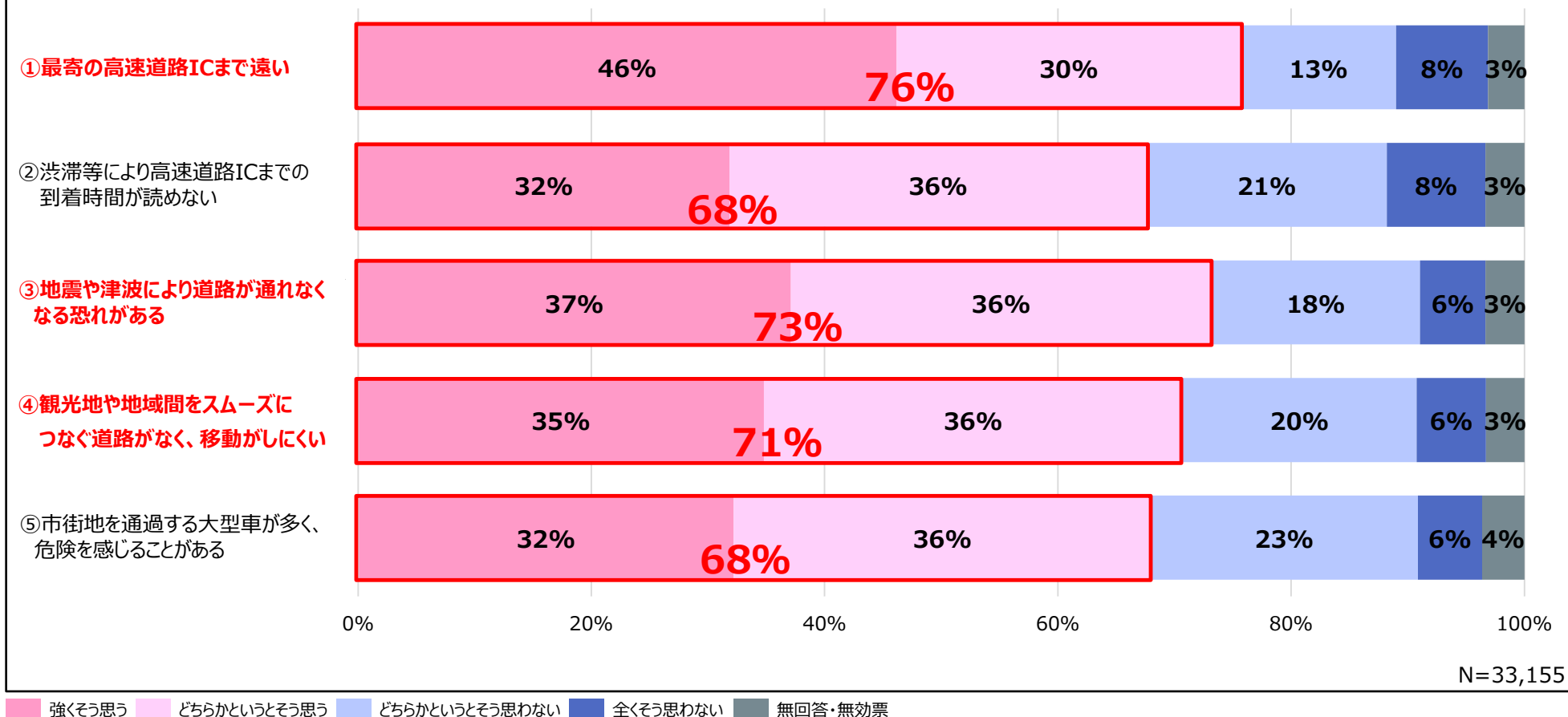


2. 第1回意見聴取の結果 2-4) 道路の課題①

①全体

- 道路の課題については、全ての項目について約7割の方が課題と認識。
- 特に、「①最寄りの高速道路ICまで遠い」「③地震や津波により道路が通れなくなる恐れがある」「④観光地や地域間をスムーズにつなぐ道路がなく、移動がしにくい」が課題との意見が7割を超える。

Q：浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の周辺の道路には、交通に関するどのような課題があると思いますか？
以下の①～⑤の交通に関する課題について、4段階評価してください。

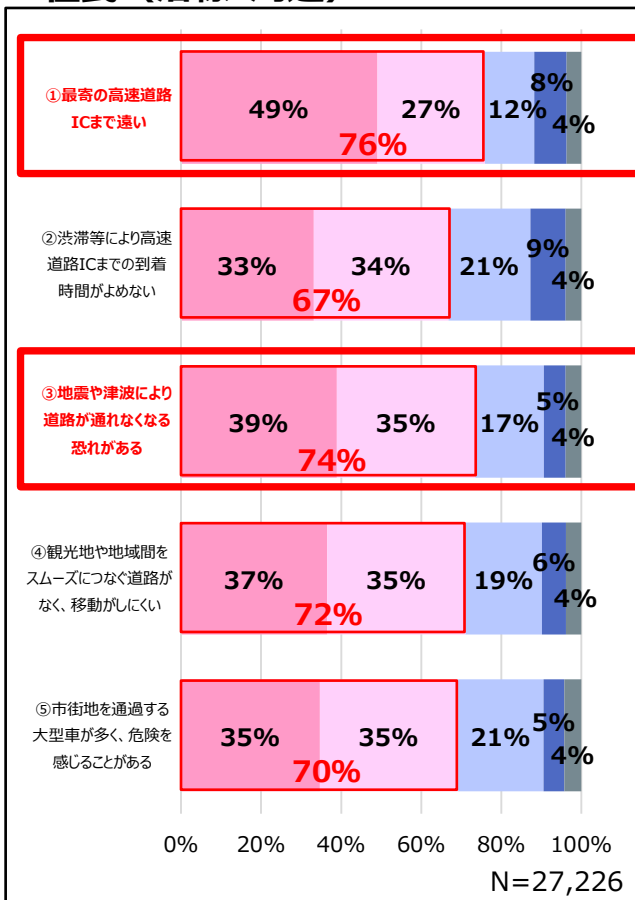


2. 第1回意見聴取の結果 2-4) 道路の課題②

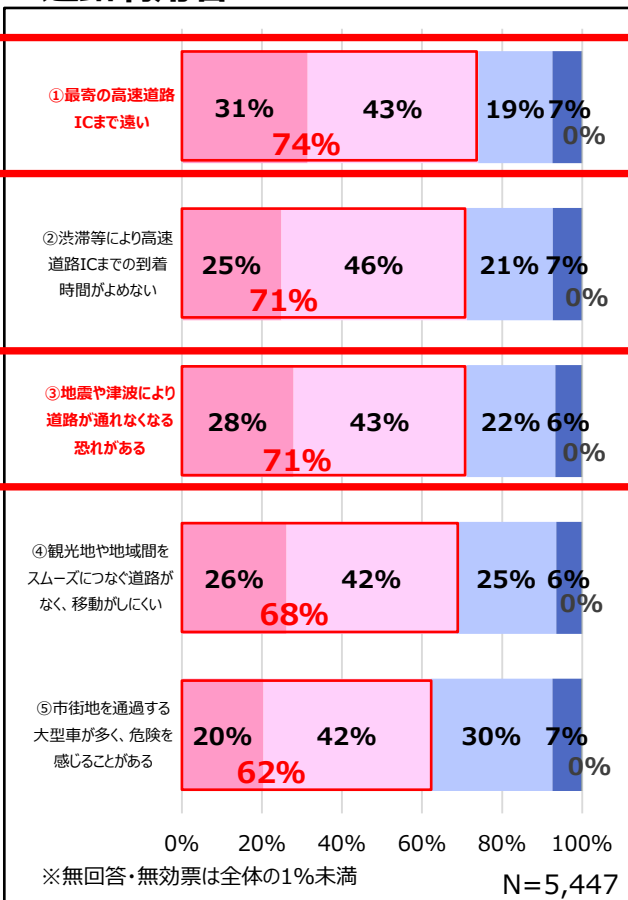
②対象者別

- 住民、道路利用者、事業者それぞれにおいて、「①最寄の高速道路ICまで遠い」が最も大きな課題として認識されている。
- また、住民、道路利用者、事業者それぞれにおいて「③地震や津波により道路が通れなくなる恐れがある」が次いで大きな課題として認識されている。

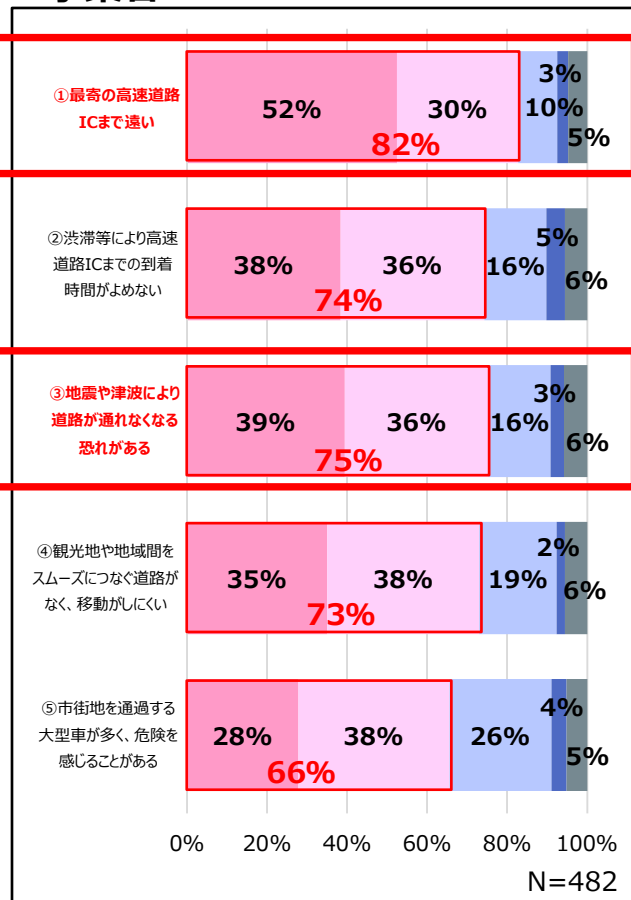
■ 住民（沿線・周辺）



■ 道路利用者



■ 事業者



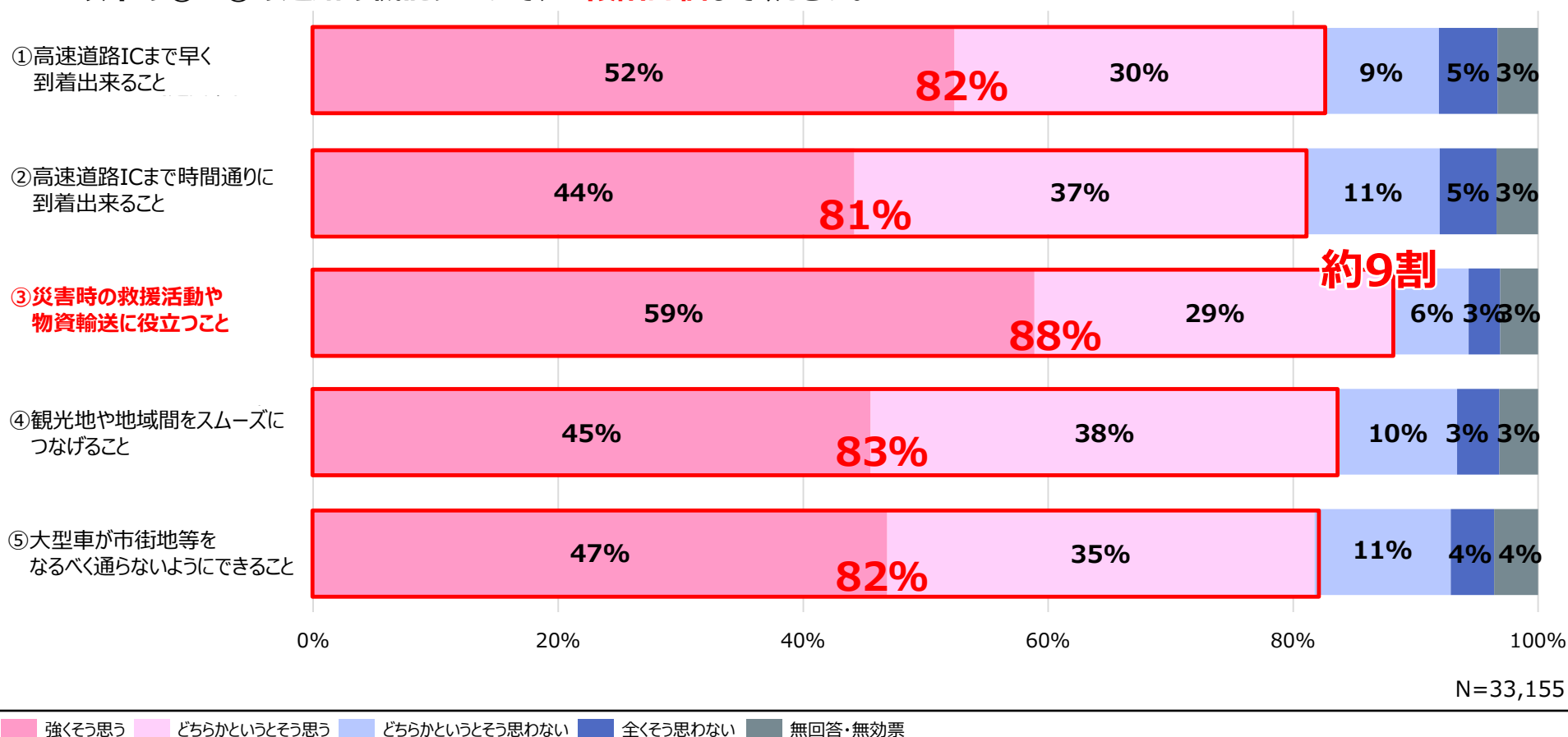
■ 強く思う
 ■ どちらかというと思う
 ■ どちらかというと思うわない
 ■ 全くそう思わない
 ■ 無回答・無効票

2. 第1回意見聴取の結果 2-5) 道路に求められる機能・役割①

①全体

- 全ての項目について約8割の方が浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の機能として必要と回答。
- 「③災害時の救援活動や物資輸送に役立つこと」については、約9割の方が浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の機能として必要と回答。

Q：浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）には、どのような道路の機能が必要だと思いますか？
以下の①～⑤の道路の機能について、4段階評価してください。

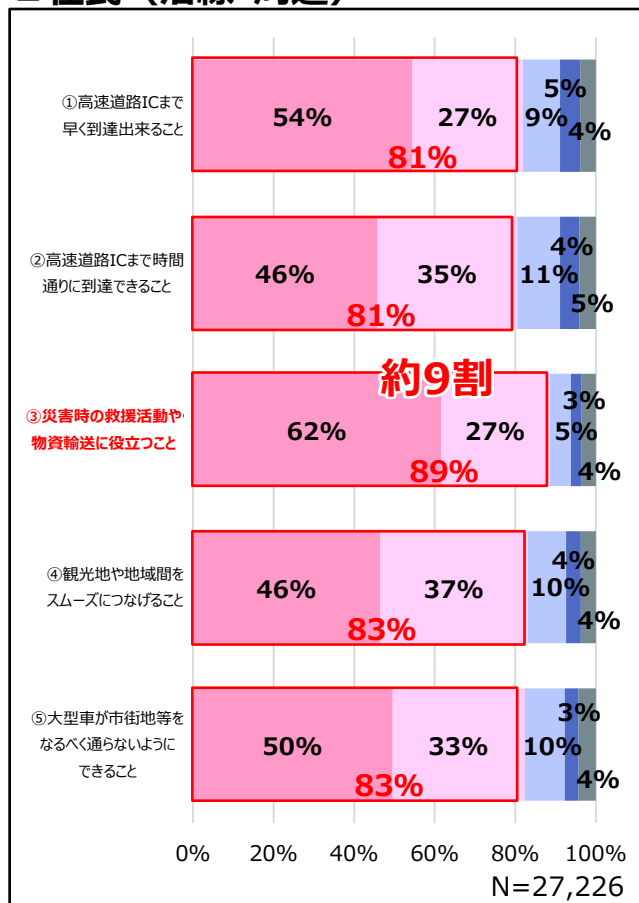


2. 第1回意見聴取の結果 2-5) 道路に求められる機能・役割②

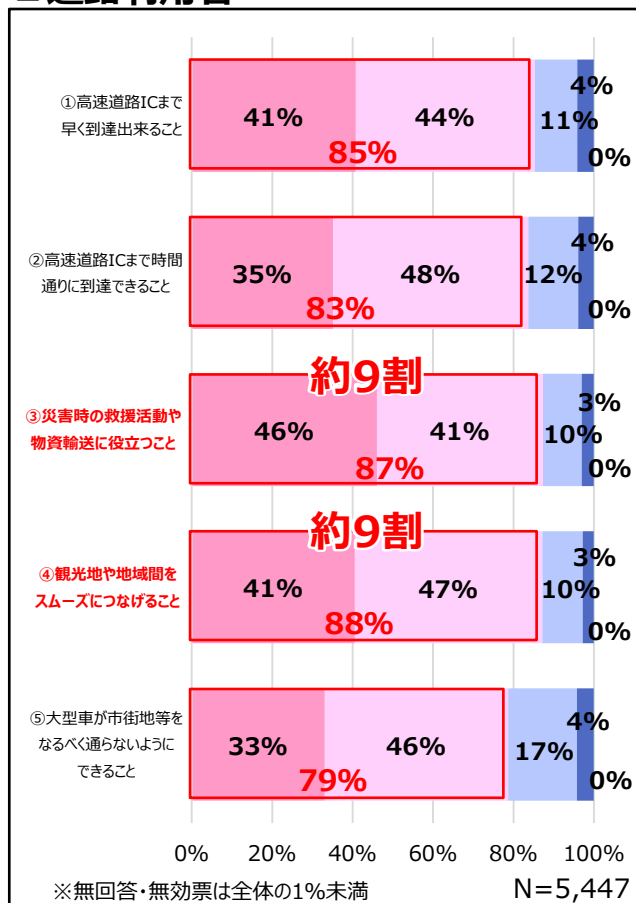
②対象者別

- 住民の回答では、「③災害の救援活動や物資輸送に役立つこと」が約9割と多い。
- 道路利用者の回答では、「③災害時の救援活動や物資輸送に役立つこと」及び「④観光地や地域間をスムーズにつなげること」が約9割と多い。
- 事業者は、「①高速道路ICまで早く到達出来ること」及び「災害時の救援活動や物資輸送に役立つこと」が約9割と多い。

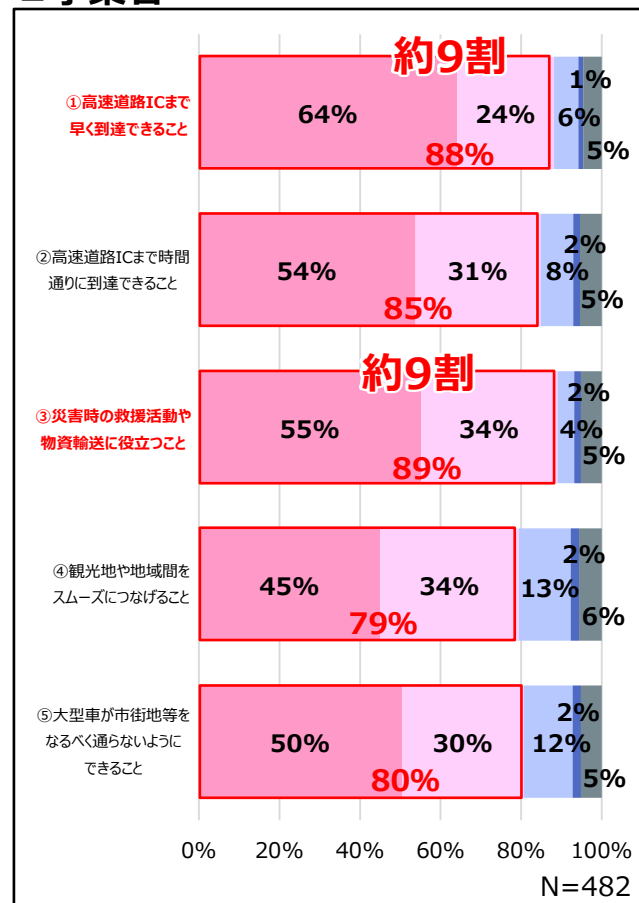
■ 住民 (沿線・周辺)



■ 道路利用者



■ 事業者



強く思う (赤) どちらかというと思う (桃) どちらかというと思わない (青) 全く思わない (水色) 無回答・無効票 (グレー)

2. 第1回意見聴取の結果 2-6) ヒアリング結果

- 三河港からのICアクセス性や時間の定時性については多くの関係機関、団体から課題として共通の認識として意見があった。
- 主要観光地間を繋ぐ道路ネットワークの必要性や災害時の地域孤立への懸念の他、大型車や緊急車両等が安全に走行できる規格の高い道路を求める声が多く挙がった。

区分 (地域の課題)	道路の課題	求められる機能・役割
<p>① 最寄りの高速ICまで遠い</p> <p>② 渋滞等により高速道路ICまでの到着時間がよめない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三河港は高速アクセス性が悪いのがウィークポイントである、アクセス時間を短縮し、製品輸送の定時性が確保することで、大きなセールスポイントに繋げることが重要。〔市役所〕 ・湖西市の工場等で使用する部品は広域から高速を利用して運んでいる。方面別では、中央道経由で長野方面からの輸送も行っており、更なる効率的な輸送網の整備が必要。〔商工会〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間信頼性の高い道路の整備が必要。高速アクセスが良くなり、豊洲方面への出荷が良くなれば鮮度が上がり、魚の付加価値も上がる。〔商工会〕 ・三河港から最寄り高速ICまでは遠く、著しく時間を要し、また、渋滞等により所要時間にバラつきがあるため、速達性及び定時性の向上による物流支援。〔市役所〕
<p>③ 地震や津波により道路が通れなくなる恐れがある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクヘッジのためにいろんな地域と繋がるネットワークが重要。工業では南海トラフのリスク管理が一番の課題となっており、南北に強い道路ができる安心感はすごく大きい。〔商工会〕 ・大規模災害時の集括拠点になっている新東名高速道路浜松SAとの接続を良くしてほしい〔消防〕 ・災害時における被災地や避難所、医療拠点等へのアクセスルートとなる道路整備が必要。〔病院〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・救急車等の緊急車両がいち早く現場や病院等に到達できるような規格の道路として整備されること、また、災害時における被災地や避難所、医療拠点等へのアクセスルートとしての役割を果たすことに期待〔病院〕 ・通行止めや災害時の交通途絶等において、迂回効果がしっかり発現する高速性のある道路。〔警察署〕 ・県外からの物資等輸送に伴う防災拠点への迅速なアクセス性確保、さらには、南海トラフ巨大地震等、災害時においても機能する支援ルートの確保。〔市役所〕
<p>④ 観光地や地域間をスムーズにつなぐ道路がなく、移動がしにくい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊根のスキー場と田原の「はな」との連携を進めるなど、気候の異なる地域が繋がることで観光ポテンシャルを高める必要がある。〔観光協会〕 ・観光地とICが遠すぎて来客数増加の足かせになっている。〔商工会〕 ・この地域8市町村が連携して観光振興に取り組んでいるが、観光面は点になりがち。観光資源を繋ぐきっかけになる道路整備が必要。〔観光協会〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）が整備されることによる、点在している観光資源・観光拠点間の周遊性・回遊性が高まり、相互連携によりポテンシャルの向上、中山間地域と沿岸地域のネットワークの強化。〔市役所〕 ・浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）が整備された場合、豊橋南部、田原市から静岡・関東方面への移動時間の短縮が可能となり、観光エリアの拡大、訪問先での滞在時間の増加に期待。〔バス協会〕
<p>⑤ 市街地を通過する大型車が多く、危険を感じることもある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員が狭い道が多く、自転車の走行の安全性に影響。10 tトラックドライバーのストレスになっている。〔JA〕 ・自転車（サイクリスト）と物流車両等との衝突の危険性等、安全性の課題が大きい。〔観光協会〕 ・湖西市では、現在、救急車の主たる利用道路として、国道301号を利用しているが、線形が悪く、片側1車線のため、渋滞や事故の影響を受ける。（消防） 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の道路は道幅が広くないため、浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の整備後、輸送用の大型車が利用する機会が増えてくれれば、サイクリング、歩行者などへの安全確保にもつながると考える。〔市役所〕 ・大型車の走行性向上すれば輸送上の安全だけでなく、一般車両や歩行者等の安全性の向上にも繋がる。〔商工会〕

2. 第1回意見聴取の結果 2-7)まとめ

■ 道路の課題・地域で求められる機能役割

■ アンケートやヒアリング結果から得られた地域の意見を踏まえ、政策目標（案）は妥当であると確認された。

アンケート結果		ヒアリング結果		政策目標
課題	①最寄り的高速ICまで遠い ②渋滞等により高速道路ICまでの到着時間がよめない	39% 72%	33% 17% 8% 3%	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路ICまでの時間距離 ・高速道路ICまでの定時性が低い
求められる機能・役割	①高速ICまで早く到達出来る ②高速道路ICまで時間通りに到達できる	48% 82%	34% 10% 5% 3%	<ul style="list-style-type: none"> ・速達性、信頼性が高い ・物流拠点や高速道路ICなどの地域の拠点を接続する機能
課題	③地震や津波により道路が通れなくなる恐れがある	37% 73%	36% 18% 6% 3%	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフに対する道路防災が脆弱 ・救援活動を支える道路網が未整備
求められる機能・役割	③災害時の救援活動や物資輸送に役立つ	59% 88%	29% 3% 6% 3%	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路IC等の交通拠点から、被災地までを接続する ・防災拠点と高速道路を接続
課題	④観光地や地域間をスムーズにつなぐ道路がなく、移動がしにくい	35% 71%	36% 20% 6% 3%	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地～高速ICアクセスが脆弱 ・観光地間周遊を支える道路が無い
求められる機能・役割	④観光地や地域間をスムーズにつなげる	45% 83%	38% 10% 3% 3%	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地を高速道路ICをつなぐ ・観光圏域間の時間短縮に貢献（周遊のしやすさを向上）
課題	⑤市街地を通過する大型車が多く、危険を感じる事があ	32% 68%	36% 23% 6% 4%	<ul style="list-style-type: none"> ・重大事故発生リスクが高い ・事故発生時の迂回路が無く渋滞
求められる機能・役割	⑤大型車が市街地をなるべく通らないようにできる	47% 82%	35% 11% 4% 4%	<ul style="list-style-type: none"> ・大型車の一般道交通量を削減 ・事故発生リスクが低く、安定した輸送に貢献する
課題	その他（自由意見） ※意見ありのうち、設問に関連付いた意見が多くを占めていた。	意見なし 93%	意見あり 7%	<ul style="list-style-type: none"> 【意見ありのうち、評価項目以外の意見】 ・三遠南信自動車道路と合わせて整備をして欲しい ・計画路線周辺の道路と総合的に整備して欲しい 等
求められる機能・役割	その他（自由意見） ※意見ありのうち、設問に関連付いた意見が多くを占めていた。	意見なし 98%	意見あり 2%	<ul style="list-style-type: none"> 【意見ありのうち、評価項目以外の意見】 ・道路機能・構造の課題に関する意見 ・運転マナーに関する意見 ・道路管理に関する意見（路面状態の悪さ、路面標示のかすれ） 等



アンケート、ヒアリング結果からも第1回計画段階評価に設定した政策目標（案）は妥当である。

※①、②は合算した集計値

3. 対応方針の検討

3. 対応方針(原案)の検討 3-1) 対策案の立案までの流れ

将来像を踏まえた道路に求められる機能・役割と政策目標

【道路に求められる機能・役割】

- 高速道路ICまで時間通りに早く到達できる
- 災害時の救援活動や物資輸送に役立つ
- 観光地や地域間をスムーズにつなげる
- 大型車が市街地をなるべく通らないようにできる

【政策目標】

- 速達性、定時性の向上による物流支援
- 災害時の信頼性向上による円滑な救援等活動及び支援物資輸送
- 広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進
- 生活交通の安全な走行環境

※政策目標の策定にあたっては、住民、団体、道路利用者等からの意見を反映し決定

政策目標を達成するために考えられる対策案

《配慮すべきポイント》
生活環境への配慮、自然環境への配慮、その他景観など、経済性への配慮

【案①】

西側ルート

【案②】

東側ルート

【案③】

国道23号拡幅ルート

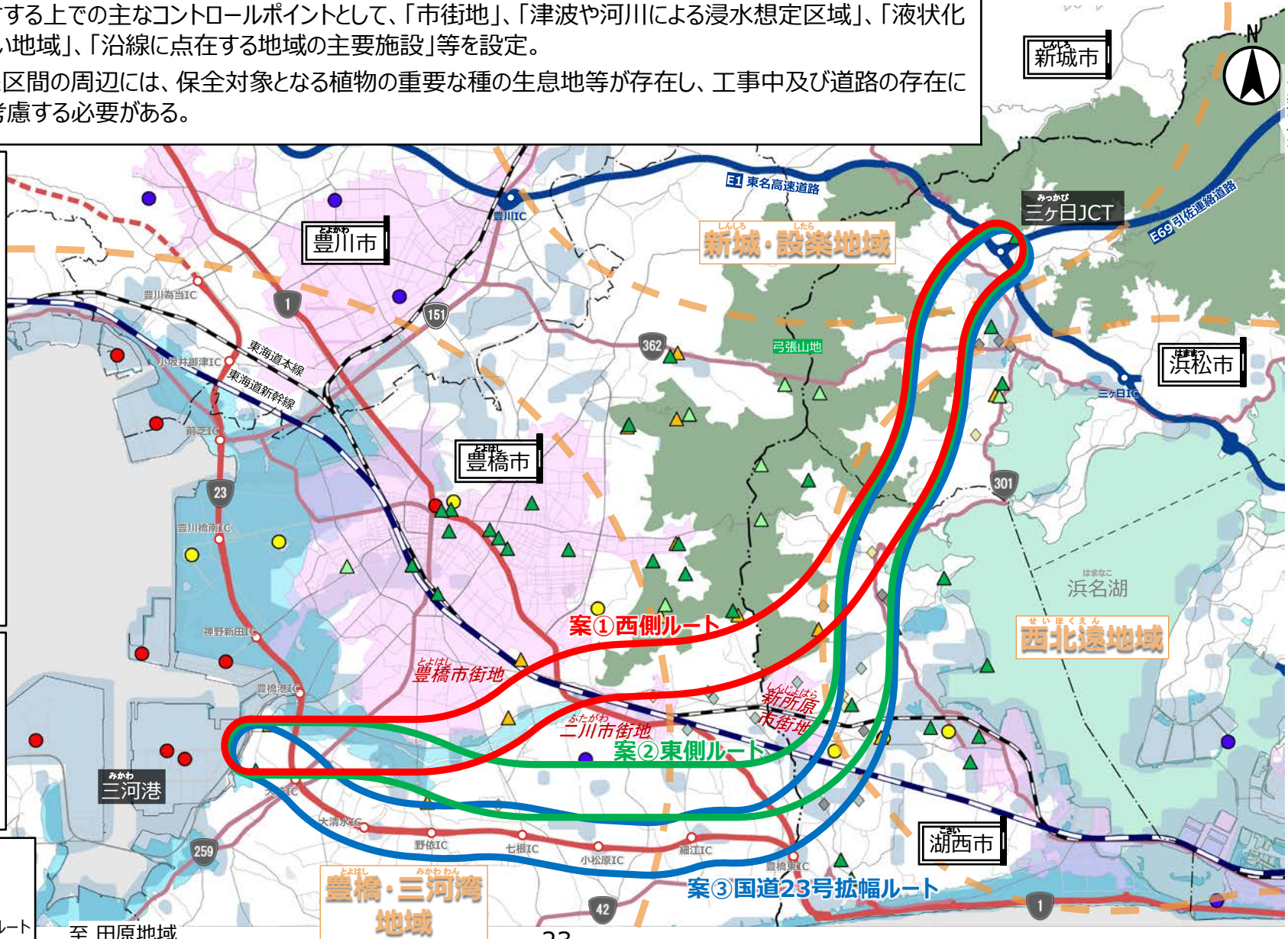
3. 対応方針(原案)の検討 3-2) 路線の検討条件

- ルート帯を検討する上での主なコントロールポイントとして、「市街地」、「津波や河川による浸水想定区域」、「液状化の危険性の高い地域」、「沿線に点在する地域の主要施設」等を設定。
- また、評価対象区間の周辺には、保全対象となる植物の重要な種の生息地等が存在し、工事中及び道路の存在による影響等を考慮する必要がある。

- < 凡例 >
- ▲ 重要な植物種 (巨樹・巨木)
 - ▲ 重要な植物種 (特定植物集落)
 - ▲ 重要な植物種 (天然記念物※植物)
 - 景観資源 (浜名湖等)
 - 物流拠点
 - 防災拠点
 - 観光施設
 - ◆ 主要施設 (学校)
 - ◆ 主要施設 (工場)
 - ◆ 主要施設 (その他)
 - 市街地
 - 標高100m以上の山地部
 - 津波や河川による浸水想定区域
 - 液状化の危険性の高い地域
 - 観光圏域

- < 凡例 >
- 高速道路
 - 直轄国道
 - 補助国道
 - 県道
 - 市道
 - 東海道新幹線
 - 東海道本線

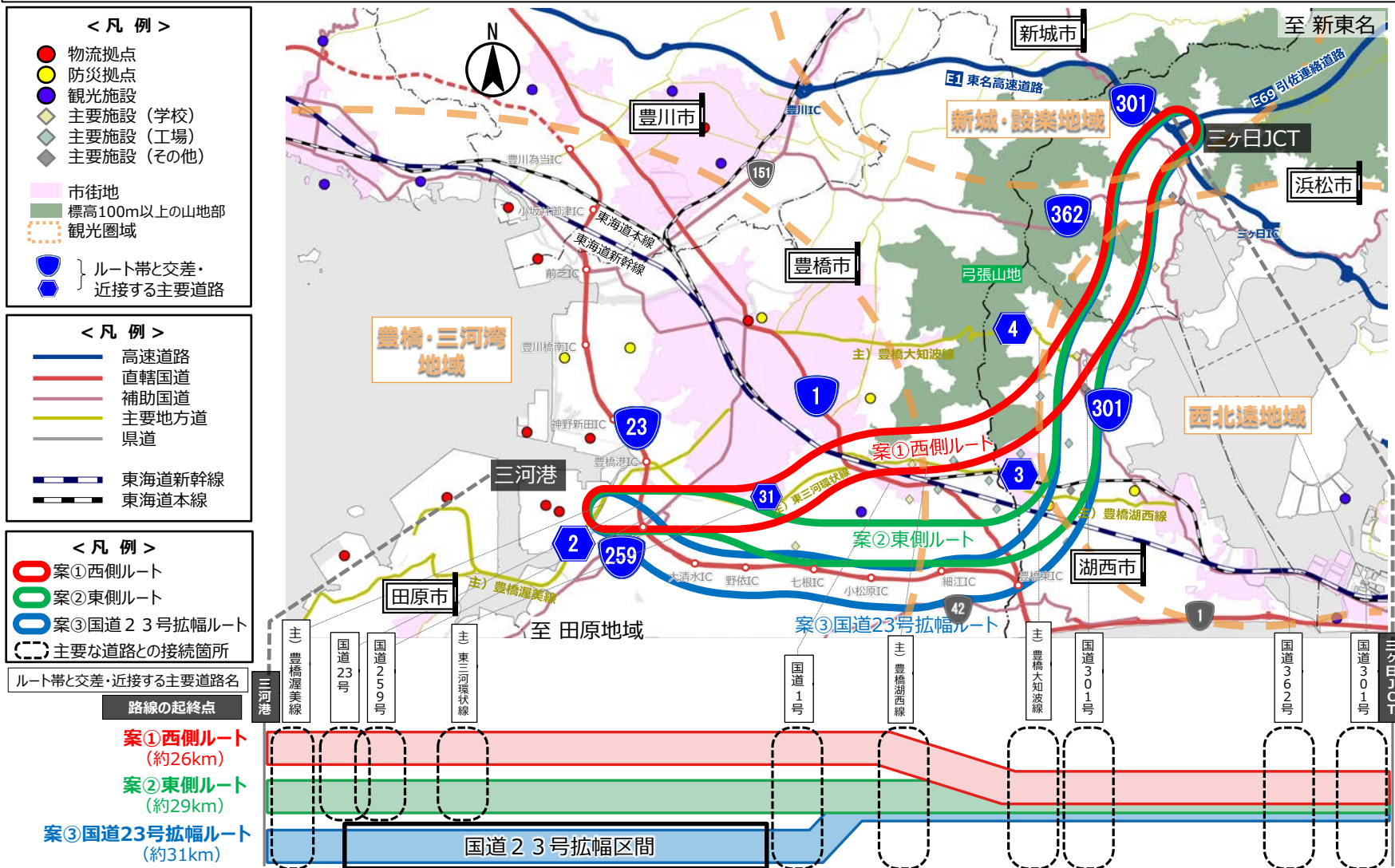
- < 凡例 >
- 案①西側ルート
 - 案②東側ルート
 - 案③国道23号拡幅ルート



至 新東名

3. 対応方針(原案)の検討 3-3)インターチェンジ配置の基本的な考え方

- インターチェンジ配置は、市街地や地域拠点からのアクセスや主要な道路との接続等を踏まえ、適切な配置となるよう検討。
- なお、配置検討に際し、配慮すべき事項については意見聴取を実施。



※上記概略図は、浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）と、主要な道路との交差箇所を明示しており、全ての交差箇所にインターチェンジを設置するものではありません。

3. 対応方針(原案)の検討 3-4)ルート帯案の概要【案①:西側ルート】

至新東名



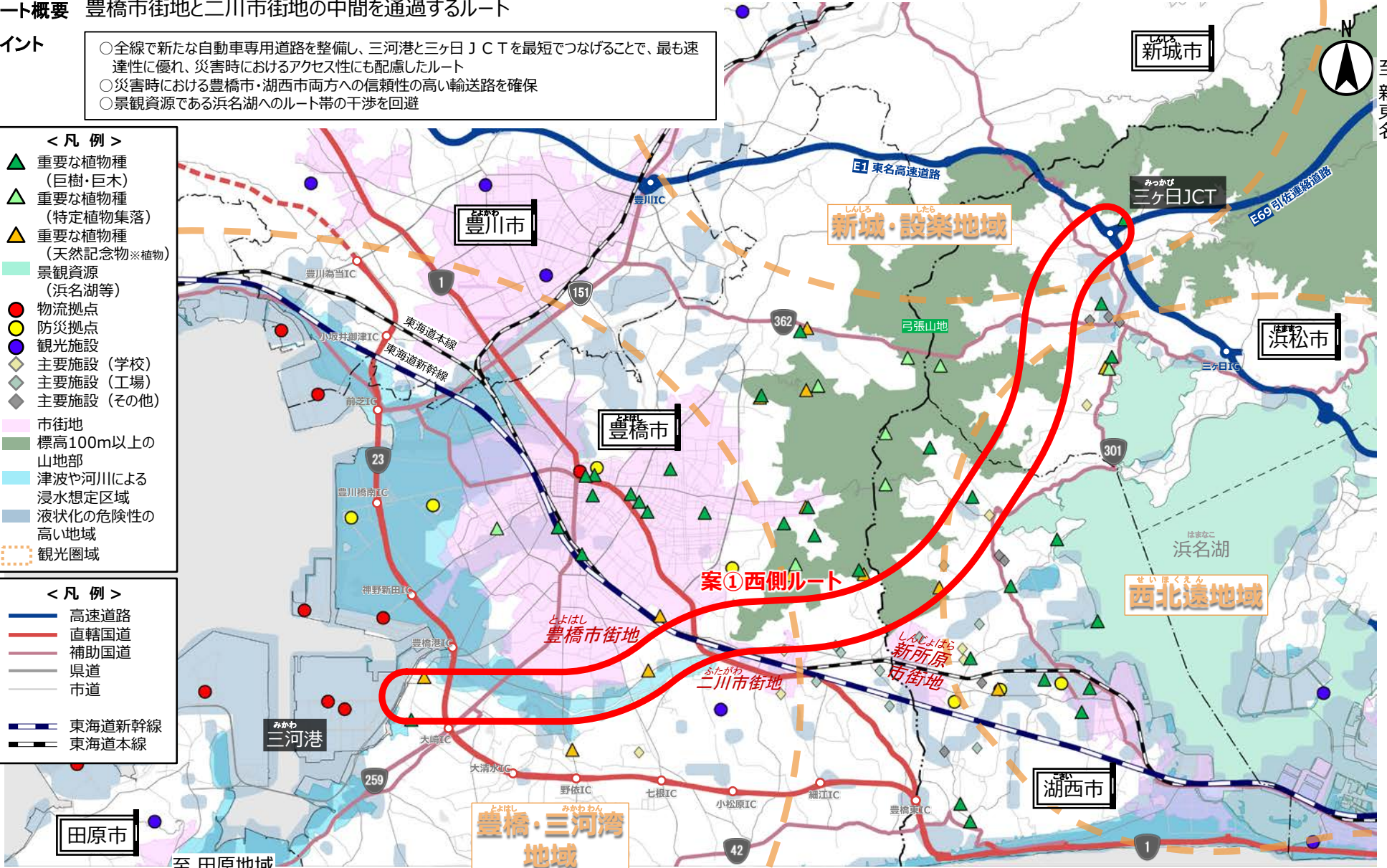
■ルート概要 豊橋市街地と二川市街地の中間を通過するルート

■ポイント

- 全線で新たな自動車専用道路を整備し、三河港と三ヶ日JCTを最短でつなげることで、最も速達性に優れ、災害時におけるアクセス性にも配慮したルート
- 災害時における豊橋市・湖西市両方への信頼性の高い輸送路を確保
- 景観資源である浜名湖へのルート帯の干渉を回避

- <凡例>
- ▲ 重要な植物種 (巨樹・巨木)
 - ▲ 重要な植物種 (特定植物集落)
 - ▲ 重要な植物種 (天然記念物※植物)
 - 景観資源 (浜名湖等)
 - 物流拠点
 - 防災拠点
 - 観光施設
 - 主要施設 (学校)
 - 主要施設 (工場)
 - 主要施設 (その他)
 - 市街地
 - 標高100m以上の山地部
 - 津波や河川による浸水想定区域
 - 液状化の危険性の高い地域
 - 観光圏域

- <凡例>
- 高速道路
 - 直轄国道
 - 補助国道
 - 県道
 - 市道
 - 東海道新幹線
 - 東海道本線



至 田原地域

3. 対応方針(原案)の検討 3-4)ルート帯案の概要【案②:東側ルート】

至新東名



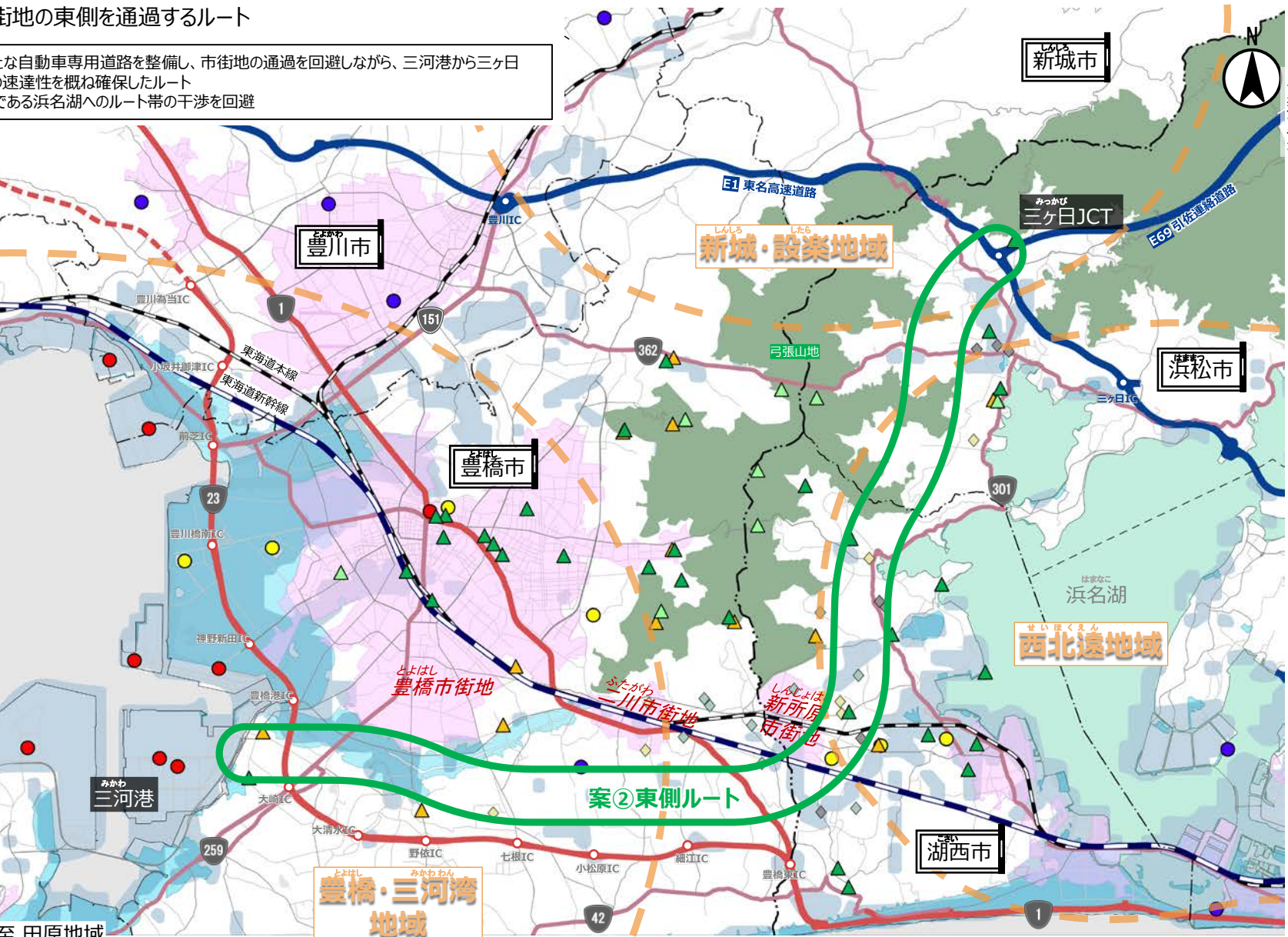
■ルート概要 新所原市街地の東側を通過するルート

■ポイント

- 全線で新たな自動車専用道路を整備し、市街地の通過を回避しながら、三河港から三ヶ日JCTへの速達性を概ね確保したルート
- 景観資源である浜名湖へのルート帯の干渉を回避

- <凡例>
- ▲ 重要な植物種 (巨樹・巨木)
 - ▲ 重要な植物種 (特定植物集落)
 - ▲ 重要な植物種 (天然記念物※植物)
 - 景観資源 (浜名湖等)
 - 物流拠点
 - 防災拠点
 - 観光施設
 - ◆ 主要施設 (学校)
 - ◆ 主要施設 (工場)
 - ◆ 主要施設 (その他)
 - 市街地
 - 標高100m以上の山地部
 - 津波や河川による浸水想定区域
 - 液状化の危険性の高い地域
 - 観光圏域

- <凡例>
- 高速道路
 - 直轄国道
 - 補助国道
 - 県道
 - 市道
 - 東海道新幹線
 - 東海道本線



至 田原地域

3. 対応方針(原案)の検討 3-4)ルート帯案の概要【案③:国道23号拡幅ルート】

至新東名

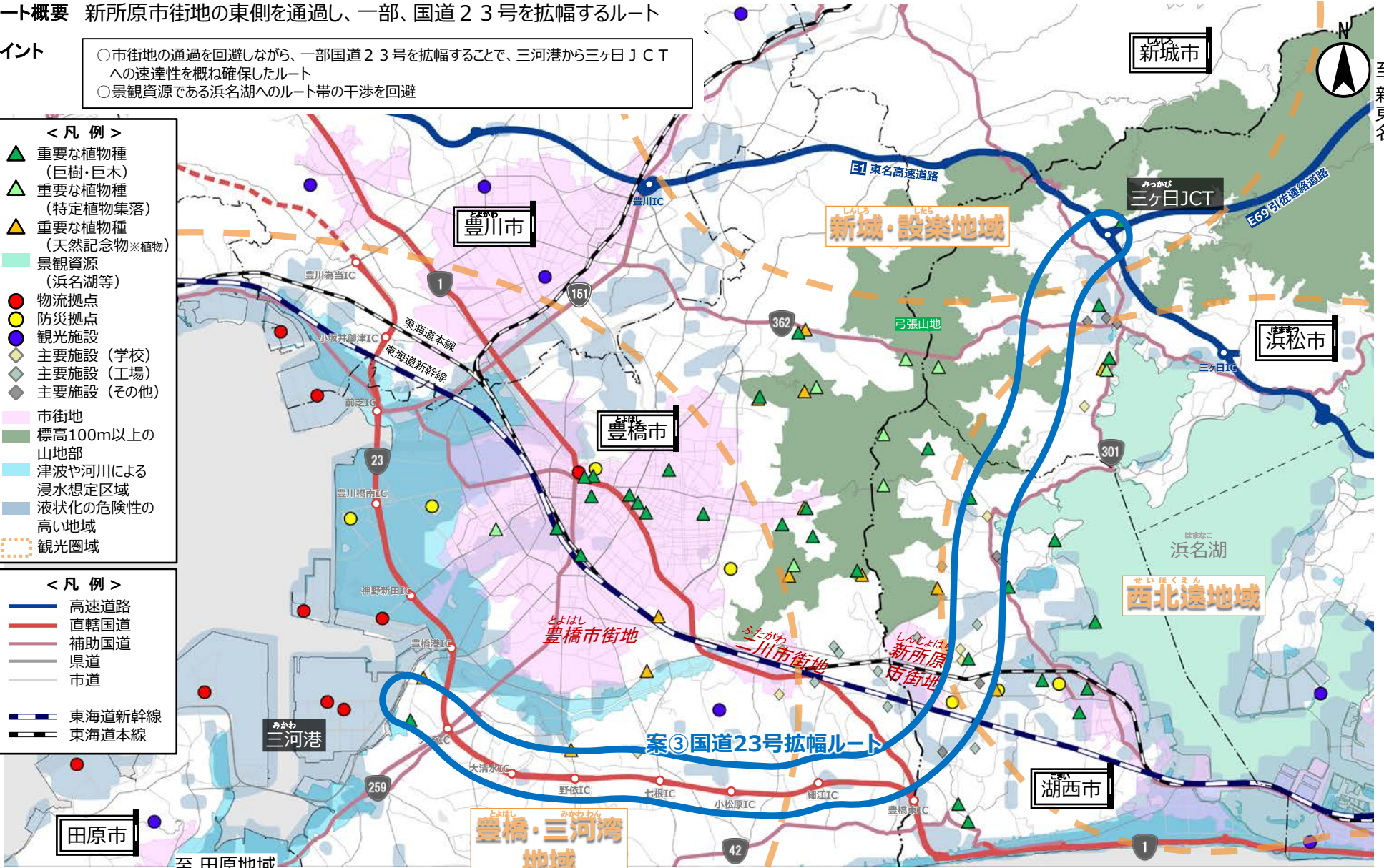
■ルート概要 新所原市街地の東側を通過し、一部、国道23号を拡幅するルート

■ポイント

- 市街地の通過を回避しながら、一部国道23号を拡幅することで、三河港から三ヶ日JCTへの速達性を概ね確保したルート
- 景観資源である浜名湖へのルート帯の干渉を回避

- <凡例>
- ▲ 重要な植物種 (巨樹・巨木)
 - ▲ 重要な植物種 (特定植物集落)
 - ▲ 重要な植物種 (天然記念物※植物)
 - 景観資源 (浜名湖等)
 - 物流拠点
 - 防災拠点
 - 観光施設
 - ◇ 主要施設 (学校)
 - ◇ 主要施設 (工場)
 - ◇ 主要施設 (その他)
 - 市街地
 - 標高100m以上の山地部
 - 津波や河川による浸水想定区域
 - 液状化の危険性の高い地域
 - 観光圏域

- <凡例>
- 高速道路
 - 直轄国道
 - 補助国道
 - 県道
 - 市道
 - 東海道新幹線
 - 東海道本線



3. 対応方針(原案)の検討 3-5) ルート帯案の比較・評価

評価軸		案① 西側ルート	案② 東側ルート	案③ 国道23号拡幅ルート	
ルート概要	概要	豊橋市街地と二川市街地の中間を通過するルート	新所原市街地の東側を通過するルート	新所原市街地の東側を通過し、一部、国道23号を拡幅するルート	
	延長	約26km	約29km	約31km (うち国道23号拡幅区間 約14km)	
政策目標	速達性、定時性の向上による物流支援	時間短縮が見込まれる (三河港から東名高速への時間：14分短縮) (豊橋市役所から高速道路への時間※：5分短縮) (湖西市役所から高速道路への時間※：29分短縮)	時間短縮が見込まれる (三河港から東名高速への時間：11分短縮) (豊橋市役所から高速道路への時間※：短縮なし) (湖西市役所から高速道路への時間※：29分短縮)	時間短縮が見込まれる (三河港から東名高速への時間：6分短縮) (豊橋市役所から高速道路への時間※：短縮なし) (湖西市役所から高速道路への時間※：29分短縮)	
	災害時における円滑な救援等活動及び支援物資輸送	災害時にも通れる信頼性が高い道路である	津波浸水域や液状化が想定される地域を回避または橋梁構造により通過することで、大規模災害の影響を受けにくい	津波浸水域や液状化が想定される地域を回避または橋梁構造により通過することで、大規模災害の影響を受けにくい	津波浸水域や液状化が想定される地域を回避または橋梁構造により通過することで、大規模災害の影響を受けにくい
		災害時に支援物資等の輸送に役立つ	防災拠点へのアクセス性向上が見込まれる (現況よりアクセス性がよくなる防災拠点：7箇所)	防災拠点へのアクセス性向上が見込まれる (現況よりアクセス性がよくなる防災拠点：6箇所)	防災拠点へのアクセス性向上が見込まれる (現況よりアクセス性がよくなる防災拠点：4箇所)
	広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進	観光地間の移動がしやすくなる	沿線地域の主要な観光圏域の相互アクセス性の向上が見込まれる(豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の移動時間：17分短縮)	沿線地域の主要な観光圏域の相互アクセス性向上が見込まれる(豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の移動時間：14分短縮)	沿線地域の主要な観光圏域の相互アクセス性向上が見込まれる(豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の移動時間：9分短縮)
	市街地部における安全な走行環境の確保	市街地を走る大型車両を減らせる	現道の幹線道路や市街地からの大型車交通の削減が期待できる(ルート帯周辺に立地する製造業の事業所数：約700箇所)	現道の幹線道路や市街地からの大型車交通の削減が期待できる(ルート帯周辺に立地する製造業の事業所数：約600箇所)	現道の幹線道路や市街地からの大型車交通の削減が期待できる(ルート帯周辺に立地する製造業の事業所数：約300箇所)
配慮すべき事項	環境への影響	生活環境への影響(集落・市街地の大気質・騒音)	市街地を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい	市街地を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい	市街地を概ね回避し、国道23号を活用するため、影響を与える可能性が最も小さい
		自然環境への影響(動物、植物、生態系等)	植物の重要な種の生息地等を概ね回避するため、影響を与える可能性は比較的小さい	植物の重要な種の生息地等を最も回避するため、影響を与える可能性は小さい	植物の重要な種の生息地等を最も回避するため、影響を与える可能性は小さい
		景観等への影響(景観等)	景観の保全上重要な箇所を回避するため影響を与える可能性は小さい	景観の保全上重要な箇所を回避するため影響を与える可能性は小さい	景観の保全上重要な箇所を回避するため影響を与える可能性は小さい
経済性への配慮		約3,000億円～3,600億円	約3,100億円～3,700億円	約2,700億円～3,200億円	

※ 東名高速へのアクセスと新設する自動車専用道路へのアクセスの比較

4. 第2回意見聴取の方法

4. 第2回意見聴取の方法 4-1) 意見聴取の方法と対象者①

■ 沿線・周辺地域の住民、道路利用者、地方公共団体、各種団体などから、対策案の比較・検討に際して重視すべき項目、配慮すべき項目などに対する意見を幅広く聴取。

■ 意見聴取（2回目）の概要

調査		対象
道路利用者アンケート調査		<ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域の道の駅（8箇所）利用者 ・東名・新東名のSA/PA（4箇所） ・国HPへのWEBアンケートページの設置 ・WEBモニター調査 ・渥美半島の宿泊施設
地方公共団体ヒアリング調査		<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県、静岡県 ・沿線地域及び周辺地域の6市（豊橋市、田原市、豊川市、新城市、浜松市、湖西市）
インタビュー調査		・周辺地域の道の駅・観光施設（9箇所）利用者
ケート 住民アン ケート 調査	沿線地域	・概ねのルート帯が通過する地域（豊橋市・湖西市・浜松市北区の一部）に全戸配布（計 約61,700世帯）
	周辺地域	・沿線地域に隣接する自治体より無作為抽出（計 約41,100世帯）
聞き 取り 調査 各種 団体	沿線・周辺地域ヒアリング	・教育委員会、消防署、警察署、医療機関、商工会議所、三河港振興会、観光協会、トラック協会、バス協会、タクシー協会、温泉旅館組合、農業協同組合、道の駅
	沿線・周辺地域アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所会員企業 ・三河港振興会 会員企業及び会員企業が利用している物流業者 ・観光協会会員、温泉旅館組合会員 ・トラック協会会員、バス協会会員、タクシー協会会員 ・教育委員会（沿線・周辺自治体）
	その他ヒアリング	・中部圏の全国旅行業協会、日本旅行業協会

- ・周知方法：記者発表、ポスター掲示
国、県、沿線・周辺地域地方公共団体HPへのバナー及び、リンク貼り付け、広報誌
- ・配布方法：①住民アンケートについて、沿線地域※1は全戸配布、周辺地域※2は無作為抽出で配布
②上記以外は、市・区役所や道の駅、SA/PAへのアンケート用紙設置
- ・回収方法：①郵便ポスト、QRコードによるスマートフォン等からの回答（WEB）
②市・区役所や道の駅、SA/PAに投函ボックスを設置
- ・期 間：約2ヶ月



※1 沿線地域：概ねのルート帯が通過する地域（豊橋市、湖西市、浜松市北区の一部）
 ※2 周辺地域：沿線地域に隣接する自治体（豊橋市、田原市、豊川市、新城市、浜松市（北区・西区）、湖西市）

4. 第2回意見聴取の方法 4-1) 意見聴取の方法と対象者②

- 市役所や道の駅、高速道路SA/PA、渥美半島方面の宿泊施設等への道路利用者アンケートの設置、観光施設でのインタビュー調査を実施。
- HPやポスターにて周知を行い回収率向上を狙う。
- 浜松河川国道事務所、名四国道事務所、沿線自治体にアンケートバナーを掲載し、インターネットによるWEBアンケートを実施。
- 商工会等へアンケート内容を説明、周知して回収率向上を図る。

■ 市役所や道の駅、高速道路SA/PA、渥美半島方面の宿泊施設等道路利用者アンケートの設置



道の駅田原めくくはうす



浜名湖SA

■ 観光施設等でのインタビュー調査



浜名港荷揚場
(2019浜名湖ミナトリング)



豊橋動物園のんほいパーク

■ ホームページでのアンケートバナーの掲載



4. 第2回意見聴取の方法 4-2) 意見聴取の調査項目と活用方針

■ヒアリングの調査項目と活用方針

ヒアリングの質問項目	ヒアリング結果の活用	備考
行政や各種団体への意見聴取	・課題、政策目標、道路整備の必要性に関し、行政や各種団体への意見聴取を行う。行政又は各種団体との認識の整合性の確認をする。	第1回
	・対策案（ルート帯案）を検討する際に行政や各種団体が重視すべき項目、配慮すべき項目について意見聴取を行う。	第2回

■アンケート結果の活用方針

アンケートの実施項目	アンケート回答結果の活用	備考
現況の問題点・解決すべき課題	・浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺地域における道路の現状について、回答者の認識を確認し、回答者の考える課題を把握する。	第1回
政策目標	・道路を計画するにあたって、回答者の考える政策目標及びその優先度について把握する。	
その他の自由意見	・その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。	
比較ルート帯案（複数案）に対する意見	・ルート帯選定にあたり、回答者が重要視する観点を把握する。 ・インターチェンジ設置に位置（配置計画）において、回答者が重要視する視点を把握する。	第2回
その他自由回答	・その他、各区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。	
回答者の属性、利用状況	・回答結果の差異に対して各分類で整理し、分析する。	共通

4. 第2回意見聴取の方法 4-3) 第2回アンケート案(紙面構成)①

道路計画に関するご意見をお聞かせください

はままつ かつか とよはし
**浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称)の計画に関する
第2回アンケート**

【概ねの起終点】
三河港

【概ねの起終点】
三ヶ日ジャンクション

本アンケート調査は、浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称)の計画にあり、皆様の生活に役立つ道路となるよう、周辺地域の皆様のご意見をお聴かせ頂くために実施するものです。

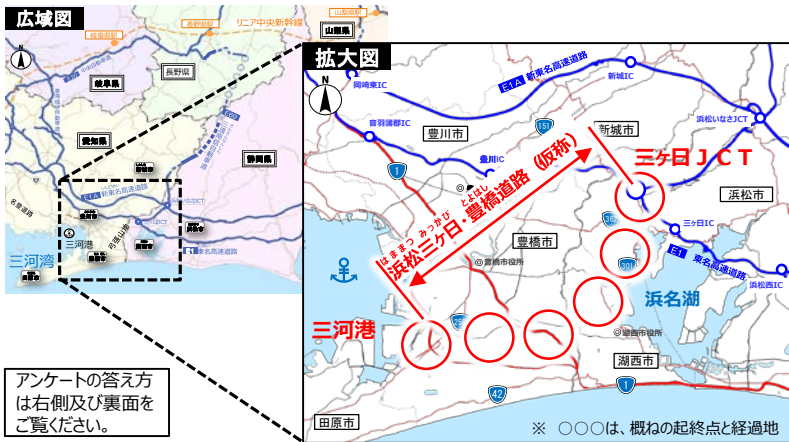
本アンケート調査は全2回を予定しており、1回目のアンケートでは、浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称)周辺地域の課題や道路に求められる機能・役割についての地域の皆様のご意見を頂き、政策目標を決定いたしました。

2回目となる本調査では、政策目標をもとにルート帯案を比較・検討する際に重要だと思ふポイントについてご意見を伺うものです。

なお、本アンケートは、環境影響評価法第三条の七に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。ご協力のほどお願い申し上げます。

本調査は、豊橋市、田原市、豊川市、新城市、浜松市(北区・西区)、湖西市の方を対象にアンケート調査実施のご案内を送付し、ご回答をお願いしております。

ご回答いただいたアンケートは、国土交通省名四国道事務所及び浜松河川国道事務所で集計を行います。



アンケートの答え方は右側及び裏面をご覧ください。

郵便はがきによる回答は、**20●●年●月●日(●)**までにお願致します。
※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

お問い合わせ先



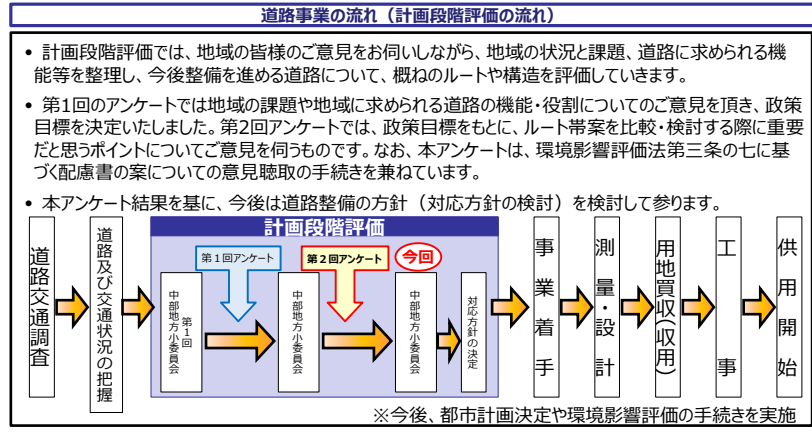
国土交通省 中部地方整備局
名四国道事務所 計画課

〒467-0847 名古屋瑞穂区神穂町5番3号
電話: TEL (052) 823-7917 (直通: 平日9:30~17:00)
ホームページ: <http://www.cbr.mit.g.jp/meishi/>



国土交通省 中部地方整備局
浜松河川国道事務所 計画課

〒430-0811 静岡県浜松市中区各塚町266
電話: TEL (053) 466-0117 (直通: 平日9:30~17:00)
ホームページ: <http://www.cbr.mit.g.jp/hamamatsu/>



回答用の郵便はがきの記入例

・**選択回答**の設問は、あてはまる番号に**1つだけ**○(マル)をしてください。

・問2、問3は4段階評価の質問です。**それぞれの項目について1つずつ**○(マル)をつけてください。その他の選択肢をチェックした場合は、具体的な内容を回答してください。

・**問4**の設問は自由回答です。具体的なご意見をお書き下さい。

※地域の現状について、地域にお住まいの皆さまのご意見を広くお聞きすることを目的としています。そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

「オモて面」

郵便はがき

4 6 7 8 7 9 0

〒467-0847 名古屋瑞穂区神穂町5番3号
国土交通省 名四国道事務所
計画課 行

1. 性別	1. 男性	2. 女性
2. 年齢	1. 10代	2. 20代
3. 収入	1. 550代	2. 60代
4. 利用する	1. 利用する	2. 利用しない

「ウラ面」

問2. この地域(浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称)周辺)において、望ましいルート帯案を考へる際に留意すべき点とは何か。以下の①~③の項目について、4段階評価して下さい。

① 高速道路に早く(短期間)に到達できること	1. 全くお望まない	2. ほとんどお望まない	3. どちらかといえばお望ましい	4. 非常に望ましい
② 災害時に支障物等の輸送に役立つこと	4	3	2	1
③ 観光地間の移動がしやすいこと	4	3	2	1
④ 市街地を走る大型車を減らせること	4	3	2	1
⑤ 生活環境(大気・騒音)に影響が少ないこと	4	3	2	1
⑥ 自然環境(動植物等)に配慮し、影響が少ないこと	4	3	2	1
⑦ 地域の景観(景観資源)に配慮し、影響が少ないこと	4	3	2	1
⑧ 道路をつくる費用が安いこと	4	3	2	1

問3. インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきか。以下の①~③の項目について、4段階評価して下さい。

① 産業拠点となる三河港や産業集積地からアクセスしやすいこと	4	3	2	1
② 防災拠点からアクセスしやすいこと	4	3	2	1
③ 沿線地域の観光地へアクセスしやすいこと	4	3	2	1
④ 市街地からアクセスしやすいこと	4	3	2	1

問4. その他配慮すべき事項について、ついでにご意見がありましたら、ご自由にお書きください。【自由回答】

問5. この地域(浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称)周辺)の現在の道路の状況や、今後の道路整備等についてご意見がありましたら、ご自由に記入してください。【自由回答】

ご協力ありがとうございます。

4. 第2回意見聴取の方法 4-3) 第2回アンケート案(紙面構成)②

アンケートの答え方

手順①：アンケートの対象範囲を確認して下さい。

P.1 (本紙)



P.1にアンケートの対象範囲を示しています。アンケートの対象となる地域を確認して下さい。

手順②：P. 3～4を見ながら、回答してください。

P.3 (本紙)



P.4 (本紙)



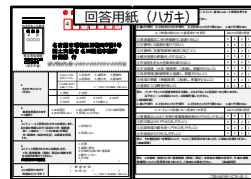
回答方法①

：下記のQRコードより、WEBページ内の手順に沿って回答してください。



回答方法②

：回答用紙（返信ハガキ）に記入の上ポストへ投函してください。



ご家族の複数の方でご回答いただいても構いません

※ 回答用紙（返信ハガキ）は2通同封しています

～ 地域の意見聴取の回答方法、実施期間 ～

- 郵便はがきによる回答は、**20●●年●月●日(●)**までにお願い致します。
- ※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

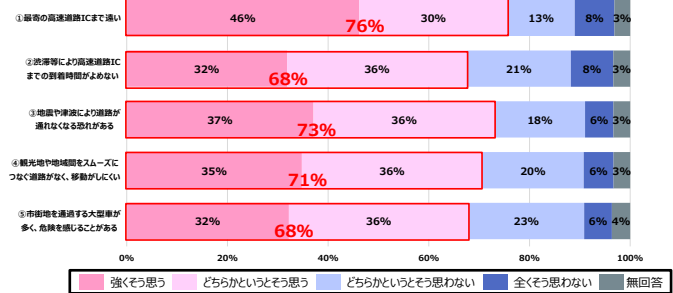
第1回意見聴取の結果

第1回意見聴取の結果では、地域の皆さまや道路利用者の方にアンケートを行い、32,700通余りのご意見が集まりました。
頂いたご意見を以下にお知らせいたします。

1) アンケート結果

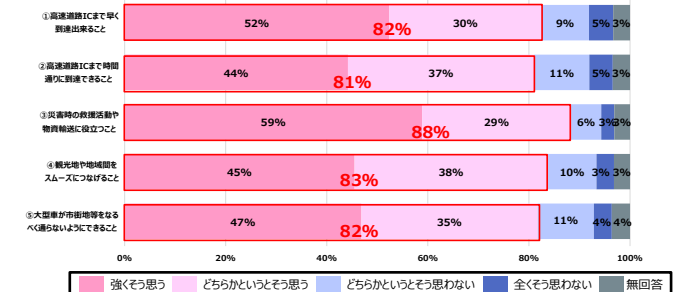
■ 新たな道路を計画している地域の課題

新たな道路を計画している周辺地域の道路の課題について、全ての項目において7割～8割の人が課題だと認識しています。



■ 浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）に求められる機能・役割

浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）に求められる機能・役割について、全ての項目において必要だと認識している人が多く、特に防災の関心が高い傾向です。



2) ヒアリング結果

- ・時間信頼性の高い道路の整備が必要。高速アクセスが良くなり、豊州方面への出荷が良くなれば鮮度が上がり、魚の付加価値も上がる。(商工会)
- ・この地域8市町村が連携して観光振興に取り組んでいるが、観光面は点になりがち。観光資源を繋ぎかけになる道路整備が必要。(観光協会)
- ・災害時における被災地や避難所、医療拠点等へのアクセスルートとなる道路整備が必要。(病院)
- ・湖西市では、現在、救急車の主たる利用道路として、国道301号を利用しているが、線形が悪く、片側1車線のため、渋滞や事故の影響を受ける。(消防)
- ・幅員が狭い道が多く、自転車の走行の安全性に影響。10tトラックドライバーのストレスになっている。(JA)
- ・自転車(サイクリスト)と物流車両等との衝突の危険性等、安全性の課題が大きい。(観光協会)


4. 第2回意見聴取の方法 4-3) 第2回アンケート案(紙面構成)③

地域の課題と課題を解決するための目標について

浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）における課題解決のための目標を定めました

■ 第1回委員会にて整理した地域の課題と地域の皆様から頂いたご意見をもとに課題解決にむけた目標を以下の通り定めました。

課題1 ①最寄の高速ICまで遠い
②渋滞等により高速道路ICまでの到着時間が読めない
《国道151号の渋滞》



至 豊川IC
至 三河港方面


意見聴取で頂いたご意見

- ・高速のICが、東西どちらも遠い。
- ・朝夕の渋滞で、身動きできない。

政策目標

速達性、定時性の向上による物流支援

課題2 ③地震や津波により道路が通れなくなる恐れがある
《防災拠点における災害支援》



※出典：国土交通省
(南海トラフ地震巨大地震対策計画)


意見聴取で頂いたご意見

- ・災害が起きた時、救援に不安を感じる。
- ・今後予想される自然災害に対するの早急な対応を望んでいる。

政策目標

災害時の信頼性向上による円滑な救援等活動及び支援物資輸送

課題3 ④観光地や地域間をスムーズに繋ぐ道路がなく、移動がしにくい
《観光地間の連絡》



70分
65分
60分

《観光半島》
他の主要な観光地から60分圏外


意見聴取で頂いたご意見

- ・遠州地域から三河地域を結ぶ幹線道路が少ない。

政策目標

広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進

課題4 ⑤市街地を通過する大型車が多く、危険を感じることがある
《事故危険箇所》



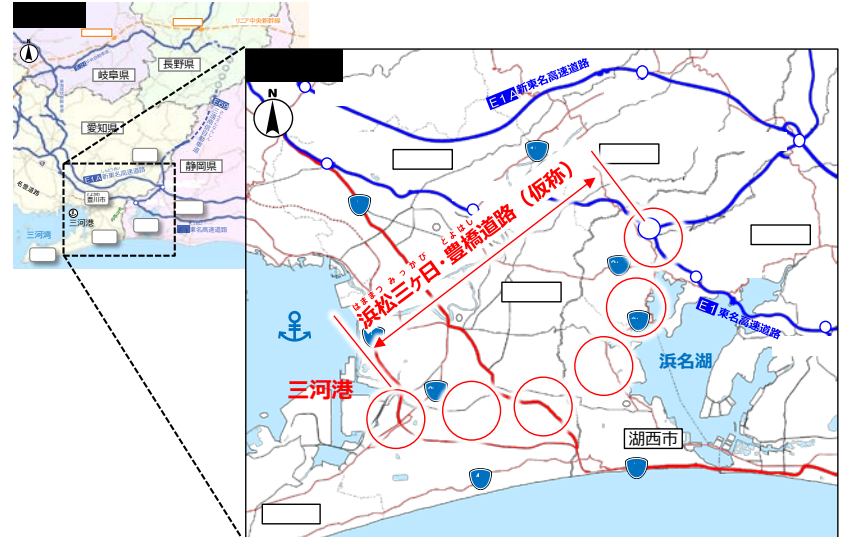
市街地において事故危険性が高い

意見聴取で頂いたご意見

- ・道が狭く、歩行者も入り乱れる地域なので危ない。
- ・危険防止のため、産業道路と、生活道路の分離が必要。

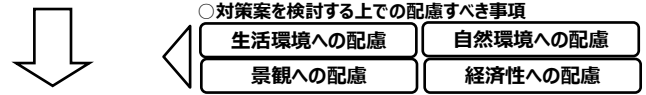
政策目標

生活交通の安全な走行環境



定めた目標と以下配慮事項を踏まえ、対策案を検討します。

基本コンセプト：物流支援、円滑な救援活動及び支援物資輸送、地域間交流の促進、生活交通の安全な走行環境を図る、当該地域の新たな主要幹線道路としての機能を目指す



対策案の方針：通過ルートの異なる複数の対策案を検討

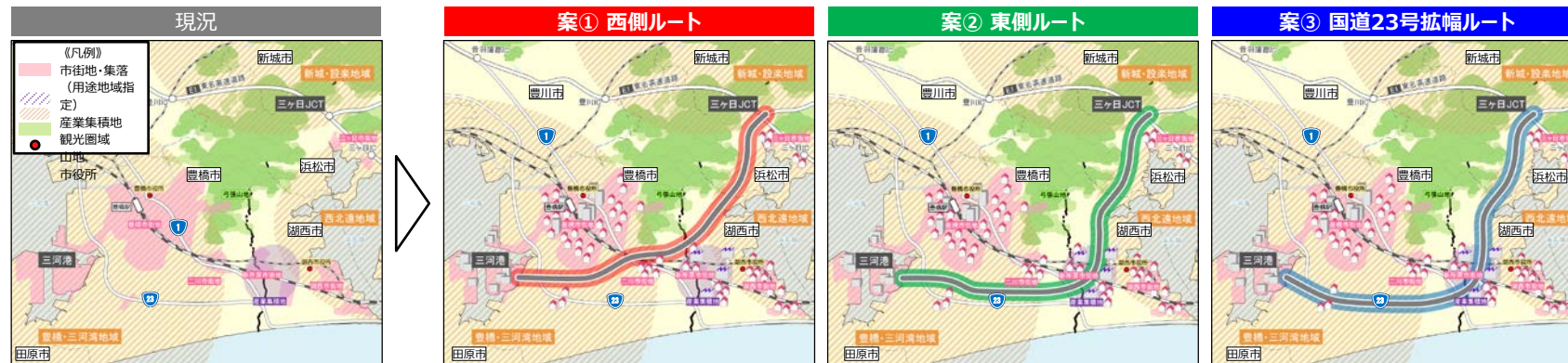
- 対策案を検討する上での重視すべき事項
 - 高速道路までより早く確実に到達し、安全で快適な走行ができること
 - 災害時において、救援活動や支援物資輸送に役立つこと
 - 豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の主要な観光地間について、広い範囲で行き来がしやすくなること
 - 大型車の市街地への流入を減らすこと
- インターチェンジの設置を検討する上での配慮すべき事項
 - 産業の拠点となる三河港や静岡・愛知県境付近の工場などからアクセスしやすいこと
 - 災害時の救援活動や支援物資輸送のために、豊橋・湖西市からアクセスしやすいこと
 - 主要な国道等とアクセスしやすいこと

4. 第2回意見聴取の方法 4-3) 第2回アンケート案(紙面構成)④

質問内容

■ 地域の課題を解決するために、以下のような対策案（3つの比較案）を検討しています。対策案について、次ページの質問事項をお答えください。

各ルートの整備イメージ



各ルートの比較表

評価軸		案① 西側ルート	案② 東側ルート	案③ 国道23号拡幅ルート	
ルート概要	概要	豊橋市街地と二川市街地の中間を通過するルート	新所原市街地の東側を通過するルート	新所原市街地の東側を通過し、一部、国道23号を拡幅するルート	
	延長	約26km	約29km	約31km (うち国道23号拡幅区間 約14km)	
政策目標	速達性、定時性の向上による物流支援	時間短縮が見込まれる (三河港から東名高速への時間※：14分短縮) (豊橋市役所から高速道路への時間※：5分短縮) (湖西市役所から高速道路への時間※：29分短縮)	時間短縮が見込まれる (三河港から東名高速への時間※：11分短縮) (豊橋市役所から高速道路への時間※：短縮なし) (湖西市役所から高速道路への時間※：29分短縮)	時間短縮が見込まれる (三河港から東名高速への時間※：6分短縮) (豊橋市役所から高速道路への時間※：短縮なし) (湖西市役所から高速道路への時間※：29分短縮)	
	災害時における円滑な救援等活動及び支援物資輸送	災害時にも通れる信頼性が高い道路である	津波浸水域や液状化が想定される地域を回避または橋梁構造により通過することで、大規模災害の影響を受けにくい	津波浸水域や液状化が想定される地域を回避または橋梁構造により通過することで、大規模災害の影響を受けにくい	
	防災拠点へのアクセス向上	防災拠点へのアクセス向上が見込まれる (現況よりアクセス性がよくなる防災拠点：7箇所)	防災拠点へのアクセス向上が見込まれる (現況よりアクセス性がよくなる防災拠点：6箇所)	防災拠点へのアクセス向上が見込まれる (現況よりアクセス性がよくなる防災拠点：4箇所)	
	広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進	観光地間の移動がしやすくなる	沿線地域の主要な観光圏域の相互アクセス性の向上が見込まれる(豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の移動時間：17分短縮)	沿線地域の主要な観光圏域の相互アクセス性向上が見込まれる(豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の移動時間：14分短縮)	沿線地域の主要な観光圏域の相互アクセス性向上が見込まれる(豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の移動時間：9分短縮)
配慮すべき事項	市街地部における安全な走行環境の確保	市街地を走る大型車両を減らせる	現道の幹線道路や市街地からの大型車交通の削減が期待できる(ルート周辺に立地する製造業の事業所数：約700箇所)	現道の幹線道路や市街地からの大型車交通の削減が期待できる(ルート周辺に立地する製造業の事業所数：約300箇所)	
	環境への影響	生活環境への影響(集落・市街地の大気質・騒音)	市街地を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい	市街地を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい	市街地を概ね回避し、国道23号を活用するため、影響を与える可能性が最も小さい
		自然環境への影響(動物、植物、生態系等)	植物の重要な種の生息地等を概ね回避するため、影響を与える可能性は比較的小さい	植物の重要な種の生息地等を最も回避するため、影響を与える可能性は小さい	植物の重要な種の生息地等を最も回避するため、影響を与える可能性は小さい
景観等への影響(景観等)	景観の保全上重要な箇所を回避するため影響を与える可能性は小さい	景観の保全上重要な箇所を回避するため影響を与える可能性は小さい	景観の保全上重要な箇所を回避するため影響を与える可能性は小さい		
経済性への配慮		約3,000億円～3,600億円	約3,100億円～3,700億円	約2,700億円～3,200億円	

※ 東名高速へのアクセスと新設する自動車専用道路へのアクセスの比較

4. 第2回意見聴取の方法 4-4) 第2回アンケート案(質問事項)①

- 「対策案（ルート帯案）」及び「インターチェンジの設置」について確認。
- 「質問事項」に合わせて、自由意見や回答者の属性を確認。

■ 質問事項

対策案(ルート帯案)を検討する際に、政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項

質問 1 : この地域（浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺）にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか。以下の①～⑨の項目について、**4段階で評価してください。**その他ご意見があれば⑩に記入してください。

< 4段階評価 >

4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思わない

- ① 高速道路ICに早く時間通りに到達できること
- ② 災害時にも道路を通行できること
- ③ 災害時に支援物資等の輸送に役立つこと
- ④ 観光地間の移動がしやすくなること
- ⑤ 市街地を走る大型車両を減らせること
- ⑥ 生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと
- ⑦ 自然環境（地形・地質・動植物・自然公園等）に配慮し、影響が少ないこと
- ⑧ 地域の景観（景観資源）に配慮し、影響が少ないこと
- ⑨ 道路をつくる費用が安いこと
- ⑩ その他（自由回答）

インターチェンジの設置を検討する際に、配慮すべき事項。

質問 2 : インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。

以下の①～④の項目について、**4段階で評価してください。**その他ご意見があれば⑤に記入してください。

< 4段階評価 >

4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思わない

- ① 産業の拠点となる三河港や産業集積地などからアクセスしやすいこと
- ② 防災拠点からアクセスがしやすいこと
- ③ 沿線地域の観光地へアクセスがしやすいこと
- ④ 市街地からアクセスしやすいこと
- ⑤ その他（自由回答）

質問 3 : その他配慮すべき事項について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

質問 4 : この地域（浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）周辺）の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

4. 第2回意見聴取の方法 4-4) 第2回アンケート案(質問事項)②

- 「対策案（ルート帯案）」及び「インターチェンジの設置」について確認。
- 「質問事項」に合わせて、自由意見や回答者の属性を確認。

■ 回答者属性

郵便はがき



料金受取人払郵便

瑞穂局
承認
〇〇〇〇

差出有効期間
令和〇年〇月
〇〇日まで
(切手不要)

4 6 7 8 7 9 0

名古屋市瑞穂区神穂町5番3号
国土交通省 名四国道事務所
計画課 行



2322EQR *

1. された方について ください	お住まいの市を 選択してください	1.浜松市 2.湖西市 3.豊橋市 4.田原市 5.豊川市 6.新城市
	それ以降の住所を 記載してください) ※〇丁目以下は記載無しで構いません
	性別	1.男性 2.女性
	年代	1.10代 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70歳以上
	2. 動車を利用されます 1つ選択]	1.ほぼ毎日 2.週に数回程度 3.月に数回程度 4.ほぼ利用しない 5.利用したことがない
3. -2]で1～4と回答された方にお聞きます。 大図の地図に示す『浜松三ヶ日・豊橋道 称) ※地図中〇〇〇で示す路線』の周辺 市・湖西市・浜松市北区)の道路を利用]か。		1.利用する 2.利用しない
4. -3]で1と回答された方にお聞きます。 ヶ日・豊橋道路(仮称)周辺の道路を利 主な目的を教えてください。 :る目的を1つ選択]		1.仕事 2.通勤・通学 3.日常的な買い物・通院等 4.観光・レジャー 5.その他 ()
5. -4]の目的で向かう 的地はどこですか?) 都・道・府・県) 市・町・村 ()	※〇丁目以下は記載無しで構いません